

## 会社情報

### 【人員配置】 令和3年4月1日付

	総務	収集運搬	処分	合計
正社員	3名	4名	7名	14名

※兼務職員については主たる部門に計上

※役員(3名)は未計上

### 【職務分掌】

#### ●総務(経理・事務)

- ・経理、会計
- ・見積書、契約書、帳票等の作成及び管理

#### ●収集運搬

- ・産業廃棄物の収集運搬
- ・車両管理(運行管理)

#### ●処分

- ・産業廃棄物の処分(選別・破碎・焼却)

許可番号 02111001383

## 産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 岐阜県揖斐郡大野町大字黒野1738番地の1

氏 名 有限会社河野組  
代表取締役 河野 勝二



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証する。

岐阜県揖斐県事務所長 奥田 浩



許可の年月日 平成29年 4月25日

許可の有効年月日 平成36年 4月24日

### 1 事業の範囲

#### (1) 積替え、保管を除く。

燃え殻、汚泥、ゴムくず

上記3品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。

以上 3種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。また、水銀含有ばいじん等を含む。

#### (2) 積替え、保管を含む。

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず  
(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、がれき類

上記7品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。

以上 7種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。

### 2 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ

#### (1)所在地

岐阜県揖斐郡大野町大字黒野河原畑2230番10

#### (2)保管面積

18m<sup>2</sup>

#### (3)産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず  
(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、がれき類

上記7品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。

以上 7種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。

#### (4)保管上限

20m<sup>3</sup>

#### (5)高さ

1.50m

### 3 許可の条件

なし

## 4 許可の更新又は変更の状況

平成 5年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (新規)
平成 5年	4月27日	産業廃棄物収集運搬業許可 (変更)
平成 7年	2月10日	産業廃棄物収集運搬業許可 (変更)
平成10年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (変更)
平成10年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成15年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成15年	12月19日	産業廃棄物収集運搬業変更届 (書換)
平成19年	1月16日	産業廃棄物収集運搬業許可 (変更)
平成20年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成22年	8月 5日	産業廃棄物収集運搬業変更届 (書換)
平成25年	1月28日	産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成29年	4月25日	産業廃棄物収集運搬業許可 (更新) (優良認定)
平成29年	11月 2日	産業廃棄物収集運搬業変更届 (書換)

5 積替え許可の有無 有 ・  無6 規則第9条の2第6項の規定による許可証の提出の有無  有 ・ 無

許可番号 02121001383

## 産業廃棄物処分業許可証

住 所 岐阜県揖斐郡大野町大字黒野1738番地の1

氏 名 有限会社河野組  
代表取締役 河野 勝二



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

岐阜県揖斐県事務所長 奥田 浩



許可の年月日 平成29年 6月13日

許可の有効年月日 平成36年 6月12日

### 1 事業の範囲

#### (1) 中間処理（焼却）

汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず  
上記5品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 5種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。

#### (2) 中間処理（破碎・選別）

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、がれき類  
上記7品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 7種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。

#### (3) 中間処理（破碎）

廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、がれき類  
上記5品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 5種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。

### 2 事業の用に供するすべての施設

#### (1) 種

類：焼却施設

設置場所：岐阜県揖斐郡大野町大字上秋字桑下34番地

設置年月日：平成6年5月11日

処理能力：

汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず 2.8t/日 (0.35t/時間)

上記5品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 5種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。

許可年月日：平成6年1月19日

許可番号：岐阜県指令環整第25号の14

#### (2) 種

類：破碎・選別施設

設置場所：岐阜県揖斐郡大野町大字黒野河原畑2230番10

許可番号 02121001383

設置年月日：平成13年6月21日

処理能力：

廃プラスチック類 4.24t/日 (0.53t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

紙くず 2.4t/日 (0.3t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

木くず 4.24t/日 (0.53t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

繊維くず 1.68t/日 (0.21t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

金属くず 1.56t/日 (0.195t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず 2.3t/日 (0.288t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

がれき類 1.06t/日 (0.133t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 7種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。

(3)種類：破碎施設

設置場所：岐阜県揖斐郡大野町大字上秋字桑下34番地

設置年月日：平成16年4月30日

処理能力：

廃プラスチック類 2.952t/日 (0.369t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

木くず 4.424t/日 (0.553t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

金属くず 4.184t/日 (0.523t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず 4.424t/日 (0.553t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

がれき類 4.184t/日 (0.523t/時間)

上記1品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。

以上 5種類

上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。

3 許可の条件

なし

4 許可の更新又は変更の状況

平成 6年 5月 27日 産業廃棄物処分業許可（新規）

平成 7年 2月 10日 産業廃棄物処分業許可（変更）

平成 8年 10月 25日 産業廃棄物処分業許可（変更）

平成 11年 5月 27日 産業廃棄物処分業許可（更新）

平成 11年 10月 13日 産業廃棄物処分業許可（変更）

平成 13年 9月 17日 産業廃棄物処分業許可（変更）

平成 15年 12月 19日 産業廃棄物処分業変更届（書換）

平成 16年 5月 27日 産業廃棄物処分業許可（更新）

平成 18年 11月 15日 産業廃棄物処分業変更届（書換）

平成 21年 5月 27日 産業廃棄物処分業許可（更新）



許可番号 02121001383

平成22年 8月 5日 産業廃棄物処分業変更届 (書換)  
平成26年 5月 27日 産業廃棄物処分業許可 (更新)  
平成29年 6月 13日 産業廃棄物処分業許可 (更新) (優良認定)  
平成29年 11月 2日 産業廃棄物処分業変更届 (書換)

5 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無  有 ・ 無

東京府

許可番号 02151001383

## 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

住所 岐阜県揖斐郡大野町大字黒野1738番地の1

氏名 有限会社河野組  
代表取締役 河野 勝二



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条の4第1項の許可を受けた者であることを証する。

岐阜県揖斐県事務所長 奥田 浩



許可の年月日 平成29年 4月25日

許可の有効年月日 平成36年 4月24日

1 事業の範囲

積替え、保管を除く。

腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等

以上 3種類

2 積替え又は保管を行うすべての場所の所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う特別管理産業廃棄物の種類、積替えのための保管上限及び積み上げることができる高さ該当なし

3 許可の条件

なし

4 許可の更新又は変更の状況

平成 5年 5月 7日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (新規)
平成10年 5月 7日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成11年 2月 8日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (変更)
平成15年 5月 7日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成15年12月19日	特別管理産業廃棄物収集運搬業変更届 (書換)
平成20年 5月 7日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成22年 8月 5日	特別管理産業廃棄物収集運搬業変更届 (書換)
平成25年 5月 7日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (更新)
平成29年 4月25日	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 (更新) (優良認定)

5 積替え許可の有無 有 ・  無

6 規則第10条の12第2項の規定による許可証の提出の有無  有 ・ 無

複写厳禁

**【直前3年間の熱回収量等】**

熱利用、発電ともに行っていない

令和3年4月1日 更新

【産業廃棄物の最終処分終了までの一連の処理の行程】

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)分

産業廃棄物の種類	受入量(t)	中間処理	処分量(t)	持出先	持出量(t)	持出先での処分方法
がれき類	805.04	選別・破砕	814.14	F社	76.02	再生砕石
				G社	671.89	再生砕石
金属くず	919.76	選別・破砕	928.91	L社	254.77	再生原料
				M社	7.97	再生原料
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	285.70	選別・破砕	298.50	A社	72.80	埋立(安定型)
				C社	25.75	埋立(安定型)
				V社	140.00	埋立(安定型)
安定型混合廃棄物	11.25	選別・破砕	11.53	AA社	212.85	埋立(安定型)
廃プラスチック類	1725.43	選別・破砕	1775.55	A社	156.52	埋立(安定型)
				C社	158.19	埋立(安定型)
				V社	301.00	埋立(安定型)
				N社	92.40	再生原料
				P社	38.13	再生原料
石膏ボード	424.72	選別・破砕	150.51	Z社	89.27	再生原料
				S社	61.56	再生原料
紙くず	207.01	選別	1.58	H社	1.58	再生原料
		焼却(焼却灰)	203.62	E社	80.39	焙焼(再生原料)
建設汚泥	1.10	焼却(焼却灰)	1.10	D社	54.82	埋立(管理型)
木くず	793.50	焼却(焼却灰)	790.47			
		選別・破砕	44.88	II社	44.88	再生原料
管理型混合廃棄物	83.73	焼却(焼却灰)	85.88	X社	29.30	埋立(管理型)
石綿含有産業廃棄物	7.01			C社	7.01	埋立
感染性産業廃棄物	16.65			ZZ社	16.65	溶解

(受入量)t	(処分量)t	(持出量)t
5280.90	5106.67	2593.75
(保管量)t		
0.00		

直前3年間の産業廃棄物の受入量、処分量、残さ処分量

(処分)令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)

単位/t

種 類	年	令和2年(2020年)										令和3年(2021年)			合計
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
廃プラスチック類	受入量	163.610	97.780	123.100	118.350	138.300	131.320	137.420	170.310	200.720	183.410	143.840	167.730	1,775.890	
	処分量	163.610	97.780	123.100	118.350	138.300	131.320	137.420	170.310	200.720	183.410	143.840	167.730	1,775.890	
	選別・破砕	163.610	97.780	123.100	118.350	138.300	131.320	137.420	170.310	200.720	183.410	143.840	167.730	1,775.890	
紙くず	受入量	17.850	14.025	18.887	13.770	18.700	13.192	17.935	18.105	17.170	16.932	17.442	24.429	208.437	
	処分量	17.850	14.025	18.887	13.770	18.700	13.192	17.935	18.105	17.170	16.932	17.442	24.429	208.437	
	選別・焼却	17.850	14.030	18.457	13.770	18.700	13.190	17.940	18.110	16.020	16.930	17.440	24.430	206.857	
	選別	0.000	0.000	0.430	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.150	0.000	0.000	0.000	1.580	
木くず	受入量	87.900	67.800	65.460	56.760	56.550	47.700	105.900	95.490	75.000	53.490	61.500	71.850	845.400	
	処分量	87.900	67.800	65.460	56.760	56.550	47.700	105.900	95.490	75.000	53.490	61.500	71.850	845.400	
	選別・焼却	87.900	67.800	65.460	56.760	56.550	47.700	96.560	92.340	58.490	42.700	58.990	69.270	800.520	
	選別	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	9.340	3.150	16.510	10.790	2.510	2.580	44.880	
建設汚泥	受入量	0.000	0.000	1.100	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.100	
	処分量	0.000	0.000	1.100	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.100	
	選別・破砕	0.000	0.000	1.100	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.100	
金属くず	受入量	94.355	35.143	59.325	74.015	74.467	77.405	103.169	108.480	79.439	88.479	67.461	79.948	941.686	
	処分量	94.355	35.143	59.325	74.015	74.467	77.405	103.169	108.480	79.439	88.479	67.461	79.948	941.686	
	選別・破砕	94.360	35.140	59.330	74.020	74.470	77.410	103.170	108.480	79.440	88.480	67.460	79.950	808.390	
ガラス・陶磁器くず	受入量	53.975	44.730	33.300	29.525	19.020	35.600	37.250	23.900	34.825	40.175	39.500	55.225	447.025	
	処分量	53.975	44.730	33.300	29.525	19.020	35.600	37.250	23.900	34.825	40.175	39.500	55.225	447.025	
	選別・破砕	53.980	44.730	33.300	29.530	19.020	35.600	37.250	23.900	34.830	40.180	39.500	55.230	447.050	
がれき類	受入量	25.500	46.000	59.000	37.000	42.600	49.800	63.800	103.570	87.500	113.500	71.770	112.600	812.640	
	処分量	25.500	46.000	59.000	37.000	42.600	49.800	63.800	103.570	87.500	113.500	71.770	112.600	812.640	
	選別・破砕	25.500	46.000	59.000	37.000	42.600	49.800	63.800	103.570	87.500	113.500	71.770	112.600	812.640	
混合廃棄物(安定型)	受入量	0.025	0.250	0.000	0.000	0.003	0.003	4.250	3.750	3.000	0.000	0.250	0.000	11.531	
	処分量	0.025	0.250	0.000	0.000	0.003	0.003	4.250	3.750	3.000	0.000	0.250	0.000	11.531	
	選別・焼却	0.030	0.250	0.000	0.000	0.000	0.000	4.250	3.750	3.000	0.000	0.250	0.000	11.530	
混合廃棄物(管理型)	受入量	2.650	2.500	7.775	4.950	8.650	6.600	9.375	16.700	6.050	7.325	3.950	10.075	86.600	
	処分量	2.650	2.500	7.775	4.950	8.650	6.600	9.375	16.700	6.050	7.325	3.950	10.075	86.600	
	選別・焼却	2.650	2.500	7.780	4.950	8.650	6.600	9.380	16.700	6.050	7.330	3.950	10.080	86.620	
合計	受入量	445.865	308.228	367.947	334.370	358.290	361.620	479.099	540.305	503.704	503.311	405.713	521.857	5,130.309	
	処分量	445.865	308.228	367.947	334.370	358.290	361.620	479.099	540.305	503.704	503.311	405.713	521.857	5,130.309	

※混合廃棄物(安定型):がれき類、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、金属くず

※混合廃棄物(管理型):紙くず、木くず、汚泥、石膏ボード

※集計対象日付は「処分終了日」です

※自社排出分は除く

処分後の産業廃棄物の持出先ごと及び処分方法ごとの処分量

令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)

単位/t

廃棄物種類	持出先	処分方法	令和2年(2020年)									令和3年(2021年)			合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
混合廃棄物	X社	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.86	0.00	0.00	20.44	29.30
	A社	埋立	24.08	24.08	24.08	24.08	36.12	24.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	156.52
			11.20	11.20	11.20	11.20	16.80	11.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	72.80	
	V社	埋立	24.08	12.04	12.04	36.12	12.04	24.08	36.12	36.12	36.12	24.08	24.08	24.08	301.00	
			11.20	5.60	5.60	16.80	5.60	11.20	16.80	16.80	16.80	11.20	11.20	11.20	140.00	
	BB社	埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12.04	0.00	12.04
0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.60	0.00	5.60	
C社	埋立	14.38	12.18	14.14	13.61	4.61	20.18	25.45	14.53	25.18	14.16	7.74	17.78	183.94		
廃プラスチック類	N社	破砕	14.00	5.60	8.40	8.40	8.40	2.80	5.60	8.40	8.40	8.40	8.40	5.60	92.40	
	P社	破砕・圧縮	11.88	8.02	0.00	0.00	0.00	0.00	7.40	10.83	0.00	0.00	0.00	0.00	38.13	
	AA社	破砕・圧縮	22.48	0.00	6.80	0.00	17.14	9.76	7.41	19.33	28.18	24.75	34.34	42.66	212.85	
金属くず	L社	破砕・圧縮	20.99	8.31	14.80	21.16	17.41	17.39	32.84	33.76	28.97	21.40	17.77	19.97	254.77	
	M社	破砕・圧縮	1.34	0.00	0.00	0.39	1.94	0.00	0.00	0.00	2.14	0.00	0.00	2.16	7.97	
がれき類	G社	破砕	55.79	55.71	46.94	32.57	36.32	43.37	49.58	78.06	79.07	76.59	39.47	78.42	671.89	
	F社	破砕	5.51	0.00	0.00	4.00	0.00	0.60	0.75	3.36	11.32	9.39	2.15	38.94	76.02	
石膏ボード	Z社	再生	12.39	6.56	6.69	7.69	7.19	3.86	3.38	5.91	9.17	8.94	3.48	14.01	89.27	
	S社	再生	10.36	0.00	10.61	0.00	0.00	8.62	10.97	0.00	10.25	0.00	0.00	10.75	61.56	
紙くず	H社	圧縮・再生	0.00	0.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.15	0.00	0.00	0.00	1.58	
木くず	II社	破砕	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.34	3.15	16.51	10.79	2.51	2.58	44.88	
燃え殻	D社	埋立	3.37	7.11	3.59	3.67	3.53	0.00	11.10	3.95	4.10	7.27	3.34	3.79	54.82	
	E社	焼却	9.07	0.00	9.36	9.90	6.48	7.19	7.41	8.03	7.95	0.00	7.71	7.29	80.39	

※混合廃棄物:廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず

直前3年間の産業廃棄物の受入量、処分量、残さ処分量

(処分)令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)

単位/t

種 類	年	平成31年			令和元年(2019年)			令和2年(2020年)						合計
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類	受入量	164.860	113.580	101.770	93.590	94.350	112.570	121.960	97.660	132.930	113.060	112.060	167.350	1,425.740
	処分量	164.860	113.580	101.770	93.590	94.350	112.570	121.960	97.660	132.930	113.060	112.060	167.350	1,425.740
	選別・破碎	164.860	113.580	101.770	93.590	94.350	112.570	121.960	97.660	132.930	113.060	112.060	167.350	1,425.740
紙くず	受入量	21.590	11.985	13.685	16.014	15.555	21.488	17.425	14.416	17.170	15.725	13.770	18.326	197.149
	処分量	21.590	11.985	13.685	16.014	15.555	21.488	17.425	14.416	17.170	15.725	13.770	18.326	197.149
	選別・焼却	21.340	11.985	13.685	16.014	15.555	21.268	17.425	14.416	17.170	15.725	13.770	18.326	196.679
	選別	0.250	0.000	0.000	0.000	0.000	0.220	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.470
木くず	受入量	68.190	37.350	61.350	57.000	61.950	75.150	71.040	43.050	62.400	60.450	48.810	52.560	699.300
	処分量	68.190	37.350	61.350	57.000	61.950	75.150	71.040	43.050	62.400	60.450	48.810	52.560	699.300
	選別・焼却	68.190	37.350	61.350	57.000	61.950	75.150	71.040	43.050	62.400	60.450	48.810	52.560	699.300
繊維くず	受入量	0.000	0.000	0.000	0.240	0.720	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.960
	処分量	0.000	0.000	0.000	0.240	0.720	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.960
	選別・破碎	0.000	0.000	0.000	0.240	0.720	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.960
金属くず	受入量	100.005	30.058	61.020	71.755	101.135	54.014	98.988	55.596	55.370	46.330	53.901	80.456	808.628
	処分量	100.005	30.058	61.020	71.755	101.135	54.014	98.988	55.596	55.370	46.330	53.901	80.456	808.628
	選別・破碎	100.005	30.058	61.020	71.755	101.135	54.014	98.988	55.596	55.370	46.330	53.901	80.456	808.390
ガラス・陶磁器くず	受入量	82.830	63.700	91.575	72.370	114.150	83.425	59.370	93.275	69.825	49.025	80.875	43.775	904.195
	処分量	82.830	63.700	91.575	72.370	114.150	83.425	59.370	93.275	69.825	49.025	80.875	43.775	904.195
	選別・破碎	82.830	63.700	91.575	72.370	114.150	83.425	59.370	93.275	69.825	49.025	80.875	43.775	904.195
がれき類	受入量	27.500	14.500	51.000	69.000	84.500	76.000	97.500	60.500	63.000	33.000	57.500	82.100	716.100
	処分量	27.500	14.500	51.000	69.000	84.500	76.000	97.500	60.500	63.000	33.000	57.500	82.100	716.100
	選別・破碎	27.500	14.500	51.000	69.000	84.500	76.000	97.500	60.500	63.000	33.000	57.500	82.100	716.100
混合廃棄物(安定型)	受入量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.100	0.025	0.000	0.025	0.750	0.325	3.750	0.350	5.325
	処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.100	0.025	0.000	0.025	0.750	0.325	3.750	0.350	5.325
	選別・焼却	0.000	0.000	0.000	0.000	0.100	0.025	0.000	0.025	0.750	0.325	3.750	0.350	5.325
混合廃棄物(管理型)	受入量	16.875	1.275	4.900	0.775	1.375	2.025	0.625	0.125	0.125	1.625	3.775	5.350	38.850
	処分量	16.875	1.275	4.900	0.775	1.375	2.025	0.625	0.125	0.125	1.625	3.775	5.350	38.850
	選別・焼却	16.875	1.275	4.900	0.775	1.375	2.025	0.625	0.125	0.125	1.625	3.775	5.350	38.850
合計	受入量	481.850	272.448	385.300	380.744	473.835	424.697	466.908	364.647	401.570	319.540	374.441	450.267	4,796.247
	処分量	481.850	272.448	385.300	380.744	473.835	424.697	466.908	364.647	401.570	319.540	374.441	450.267	4,796.247

※混合廃棄物(安定型):がれき類、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、金属くず

※混合廃棄物(管理型):紙くず、木くず、汚泥、石膏ボード

※集計対象日付は「処分終了日」です

※自社排出分は除く

処分後の産業廃棄物の持出先ごと及び処分方法ごとの処分量

令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)

単位/t

廃棄物種類	持出先	処分方法	平成31年	令和元年(2019年)								令和2年(2020年)			合計	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
混合廃棄物	X社	安定型埋立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.62	0.00	9.32	10.06	0.00	30.00
			42.00	42.00	31.50	31.50	31.50	42.00	31.50	21.00	31.50	31.50	21.00	21.00	21.00	378.00
	A社	安定型埋立	40.00	40.00	30.00	30.00	30.00	40.00	30.00	20.00	30.00	30.00	20.00	20.00	20.00	360.00
			21.00	10.50	0.00	10.50	0.00	10.50	0.00	21.00	21.00	10.50	10.50	21.00	136.50	
	V社	安定型埋立	20.00	10.00	0.00	10.00	0.00	10.00	0.00	20.00	20.00	10.00	10.00	20.00	130.00	
			0.00	17.50	8.75	8.75	8.75	17.50	8.75	0.00	0.00	8.75	8.75	8.75	96.25	
	C社	安定型埋立	0.00	10.00	5.00	5.00	5.00	10.00	5.00	0.00	0.00	1.00	5.00	5.00	51.00	
			11.20	11.20	11.20	11.20	5.60	8.40	8.40	5.60	5.60	2.80	5.60	5.60	92.40	
廃プラスチック類	N社	破砕	11.20	11.20	11.20	11.20	5.60	8.40	8.40	5.60	5.60	2.80	5.60	5.60	92.40	
	P社	破砕・圧縮	11.02	7.70	22.80	11.56	12.44	0.00	0.00	10.78	0.00	7.17	8.64	18.81	110.92	
	AA社	破砕・圧縮	0.00	15.40	7.00	0.00	0.00	0.00	20.34	8.70	5.86	16.06	8.50	0.00	81.86	
金属くず	L社	破砕・圧縮	29.55	14.57	15.02	15.10	18.75	18.24	19.59	20.43	13.14	12.81	21.64	26.27	225.11	
	M社	破砕・圧縮	2.11	0.00	1.55	0.00	0.65	2.00	1.04	0.00	0.58	0.00	1.28	0.00	9.20	
がれき類	G社	破砕	25.15	25.45	40.90	76.48	56.74	46.60	84.39	63.92	54.83	37.68	37.72	44.44	594.30	
	F社	破砕	0.79	0.00	4.33	2.88	7.56	13.24	0.00	5.18	0.65	0.00	19.75	23.39	77.77	
石膏ボード	Z社	再生	9.80	3.85	7.74	7.30	7.58	8.15	9.54	15.20	14.65	9.87	22.13	6.16	121.97	
	S社	再生	8.75	0.00	0.00	6.61	0.00	10.07	0.00	9.94	0.00	0.00	11.11	0.00	46.48	
紙くず	H社	圧縮・再生	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47	
燃え殻	D社	管理型埋立	0.00	3.99	0.00	4.07	3.77	3.93	0.00	3.90	6.65	0.00	3.19	0.00	29.50	
	E社	焼焼	9.82	0.00	9.58	0.00	0.00	9.69	9.92	0.00	0.00	9.77	0.00	9.22	58.00	

※混合廃棄物:廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず

直前3年間の産業廃棄物の受入量、処分量、残さ処分量

(処分)平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

単位/t

種類	年 月	平成30年(2018年)									平成31年(2019年)			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類	受入量	99.890	86.270	87.180	94.730	83.410	78.220	131.806	129.530	150.550	145.132	144.810	169.970	1,401.498
	処分量	99.890	86.270	87.180	94.730	83.410	78.220	131.806	129.530	150.550	145.132	144.810	169.970	1,401.498
	選別・破砕	99.890	86.270	87.180	94.730	83.410	78.220	131.806	129.530	150.550	145.132	144.810	169.970	1,401.498
紙くず	受入量	18.700	20.434	17.289	19.142	23.460	16.796	26.435	38.080	31.382	27.608	21.420	27.948	288.694
	処分量	18.700	20.434	17.289	19.142	23.460	16.796	26.435	38.080	31.382	27.608	21.420	27.948	288.694
	選別・焼却	18.350	20.434	17.289	19.142	23.460	16.796	26.435	38.080	31.382	27.238	20.750	27.658	287.014
	選別	0.350	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.370	0.670	0.290	1.680
木くず	受入量	56.490	60.450	71.850	68.130	62.850	55.830	61.890	77.280	78.600	81.155	76.350	93.570	844.445
	処分量	56.490	60.450	71.850	68.130	62.850	55.830	61.890	77.280	78.600	81.155	76.350	93.570	844.445
	選別・焼却	56.490	60.450	71.850	68.130	62.850	55.830	61.890	77.280	78.600	81.155	76.350	93.570	844.445
	選別・破砕	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
金属くず	受入量	39.550	83.846	105.090	72.546	66.105	47.008	80.230	73.337	80.795	102.040	137.295	95.372	983.214
	処分量	39.550	83.846	105.090	72.546	66.105	47.008	80.230	73.337	80.795	102.040	137.295	95.372	983.214
	選別・破砕	39.550	83.846	105.090	72.546	66.105	47.008	80.230	73.337	80.795	102.040	137.295	95.372	808.390
ガラス・陶磁器くず	受入量	50.325	55.975	63.825	90.520	58.255	56.070	88.475	93.300	84.300	80.310	106.650	113.150	941.155
	処分量	50.325	55.975	63.825	90.520	58.255	56.070	88.475	93.300	84.300	80.310	106.650	113.150	941.155
	選別・破砕	50.325	55.975	63.825	90.520	58.255	56.070	88.475	93.300	84.300	80.310	106.650	113.150	941.155
がれき類	受入量	83.000	41.800	29.800	99.500	35.500	62.200	101.000	114.500	87.000	68.000	72.000	92.300	886.600
	処分量	83.000	41.800	29.800	99.500	35.500	62.200	101.000	114.500	87.000	68.000	72.000	92.300	886.600
	選別・破砕	83.000	41.800	29.800	99.500	35.500	62.200	101.000	114.500	87.000	68.000	72.000	92.300	886.600
混合廃棄物(管理型)	受入量	5.125	2.250	9.675	6.775	11.625	10.025	8.250	4.775	1.525	1.250	0.525	1.350	63.150
	処分量	5.125	2.250	9.675	6.775	11.625	10.025	8.250	4.775	1.525	1.250	0.525	1.350	63.150
	選別・焼却	5.125	2.250	9.675	6.775	11.625	10.025	8.250	4.775	1.525	1.250	0.525	1.350	63.150
合計	受入量	353.080	351.025	384.709	451.343	341.205	326.149	498.086	530.802	514.152	505.495	559.050	593.660	5,408.756
	処分量	353.080	351.025	384.709	451.343	341.205	326.149	498.086	530.802	514.152	505.495	559.050	593.660	5,408.756

※混合廃棄物(安定型):がれき類、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、金属くず

※混合廃棄物(管理型):紙くず、木くず、汚泥、石膏ボード

※集計対象日付は「処分終了日」です

※自社排出分は除く

処分後の産業廃棄物の持出先ごと及び処分方法ごとの処分量

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

単位/t

廃棄物種類	持出先	処分方法	平成30年(2018年)												平成31年(2019年)			合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
混合廃棄物	A社	安定型埋立	0.00	31.20	0.00	20.80	10.40	10.40	10.40	20.80	41.60	52.00	41.60	41.60	280.80			
	B社	安定型埋立	0.00	7.80	0.00	7.80	7.80	0.00	7.80	0.00	7.80	0.00	0.00	0.00	39.00			
	C社	安定型埋立	10.31	9.26	11.68	0.00	7.82	7.89	0.00	9.22	8.94	7.43	9.58	5.32	87.45			
	V社	安定型埋立	10.40	0.00	10.40	10.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.40	41.60			
廃プラスチック類	X社	安定型埋立	0.00	11.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.24				
	P社	破碎・圧縮	31.50	10.50	10.50	21.00	21.00	12.81	18.74	30.72	21.58	25.52	20.63	4.17	228.67			
金属くず	N社	破碎	11.20	8.40	5.60	8.40	5.60	5.60	5.60	8.40	8.40	8.40	5.60	11.20	92.40			
	L社	破碎・圧縮	15.77	20.73	17.66	13.72	15.94	14.32	21.99	19.81	19.41	17.89	28.27	27.46	232.97			
がれき類	M社	破碎・圧縮	1.00	1.28	1.03	1.07	0.38	0.00	0.00	1.55	1.09	0.00	1.83	0.00	9.22			
	F社	破碎	41.60	27.76	19.43	70.12	39.63	50.46	95.51	62.46	46.98	47.53	46.88	62.52	610.88			
石膏ボード	G社	破碎	52.03	5.48	9.09	1.25	4.33	0.00	7.33	25.49	13.55	5.95	2.88	12.49	139.87			
	S社	再生	8.12	0.00	10.00	0.00	10.51	0.00	0.00	11.54	0.00	11.96	0.00	4.44	56.57			
	R社	再生	1.93	0.00	0.00	0.00	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.62	5.71			
	Q社	破碎	10.10	0.00	3.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13.51			
木くず	Z社	破碎	0.00	0.00	2.83	9.14	7.07	7.85	7.96	4.01	7.12	7.83	19.00	7.59	80.40			
紙くず	I社	破碎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	H社	圧縮	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.67	0.29	1.68			
燃え殻	D社	管理型埋立	0.00	3.64	4.07	4.33	2.40	3.91	0.00	4.24	0.00	3.68	4.00	4.28	34.55			
	E社	焼却	3.82	0.00	10.46	0.00	9.51	0.00	9.32	0.00	9.13	0.00	10.22	0.00	52.46			

※混合廃棄物:廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず

ダイオキシン類測定結果報告書

年 月 日



岐阜県西濃振興局  
 捐募事務所長

殿

報告者

岐阜県西濃郡大野町大字黒野1738番地の1  
 有限会社河野組  
 代表取締役 河野勝二



(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 排出ガス

採取年月日及び時刻(開始時刻~終了時刻)	排出ガス量(m³/日)	排出ガス中の酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/m³)	試料採取者	分析者	備考
2020/5/26 (11:10~15:10)	湿り 87200 乾き 56240	11.8		廃棄物焼却炉No.1 (8時間/日)	2020/5/29 ~ 2020/6/15	0.34	㈱総合保健センター	日鉄テクノロジー㈱ 広畑事業所	排ガス

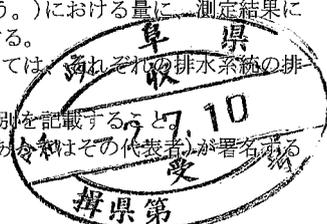
表2 排水水

採取年月日及び時刻	測定場所		特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(pg-TEQ/L)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量(m³/日)						

表3 ばいじん等

採取年月日及び時刻	試料の種別	採取箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考
2020/5/26	焼却灰		廃棄物焼却炉No.1	2020/5/29 ~ 2020/6/15	0.0021	有限会社河野組	日鉄テクノロジー㈱ 広畑事業所	焼却灰
2020/5/26	飛灰		廃棄物焼却炉No.1	2020/5/29 ~ 2020/6/15	0.0058	有限会社河野組	日鉄テクノロジー㈱ 広畑事業所	飛灰

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(以下「規則」という。)第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。
  - 3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。
  - 4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
  - 5 排出ガスにあっては表1、排水水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻(以下「ばいじん等」という。)にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
  - 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
  - 7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれ排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
  - 8 表3の試料の種別として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物(処理方法)の別を記載すること。
  - 9 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。



ダイオキシン類測定結果

証明書番号 : ME03783

排ガス (0°C, 101.32kPa)	実測濃度 Cs (ng/m³)	試料ガス における 定量下限 (ng/m³)	試料ガス における 検出下限 (ng/m³)	酸素12% 換算濃度 C (ng/m³)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/m³)
2,3,7,8-TeCDD	0.020	0.0028	0.0009	0.019	1	0.019
TeCDDs	4.2	0.0028	0.0009	4.1	—	—
1,2,3,7,8-PeCDD	0.067	0.0015	0.0004	0.066	1	0.066
PeCDDs	2.4	0.0015	0.0004	2.4	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.042	0.0017	0.0005	0.041	0.1	0.0041
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.070	0.0019	0.0006	0.068	0.1	0.0068
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.042	0.0013	0.0004	0.042	0.1	0.0042
HxCDDs	1.3	0.0018	0.0005	1.3	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.16	0.0018	0.0006	0.15	0.01	0.0015
HpCDDs	0.36	0.0018	0.0006	0.35	—	—
OCDD	0.12	0.004	0.001	0.11	0.0003	0.000034
Total PCDDs	8.4	—	—	8.2	—	0.10
2,3,7,8-TeCDF	0.27	0.0010	0.0003	0.26	0.1	0.026
TeCDFs	11	0.0010	0.0003	11	—	—
1,2,3,7,8-PeCDF	0.21	0.0032	0.0009	0.21	0.03	0.0062
2,3,4,7,8-PeCDF	0.36	0.0016	0.0005	0.35	0.3	0.11
PeCDFs	5.4	0.0031	0.0009	5.3	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.21	0.0015	0.0004	0.21	0.1	0.021
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.21	0.0026	0.0008	0.21	0.1	0.021
1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.011	0.0012	0.0004	0.011	0.1	0.0011
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.21	0.0022	0.0007	0.21	0.1	0.021
HxCDFs	1.9	0.0024	0.0007	1.9	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.34	0.0019	0.0006	0.33	0.01	0.0033
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.032	0.0029	0.0009	0.031	0.01	0.00031
HpCDFs	0.47	0.0026	0.0008	0.46	—	—
OCDF	0.059	0.005	0.001	0.057	0.0003	0.000017
Total PCDFs	19	—	—	19	—	0.21
Total (PCDDs + PCDFs)	27	—	—	27	—	0.31
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.25	0.0010	0.0003	0.24	0.0003	0.000073
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.55	0.0013	0.0004	0.54	0.0001	0.000054
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.27	0.0008	0.0002	0.27	0.1	0.027
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.053	0.0025	0.0007	0.051	0.03	0.0015
Total non-ortho PCBs	1.1	—	—	1.1	—	0.028
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.12	0.0007	0.0002	0.12	0.00003	0.0000035
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.42	0.0016	0.0005	0.41	0.00003	0.000012
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.29	0.0015	0.0005	0.28	0.00003	0.0000085
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.14	0.0011	0.0003	0.13	0.00003	0.0000040
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.096	0.0010	0.0003	0.094	0.00003	0.0000028
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.16	0.0013	0.0004	0.16	0.00003	0.0000048
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.085	0.0009	0.0003	0.084	0.00003	0.0000025
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.080	0.0015	0.0004	0.079	0.00003	0.0000024
Total mono-ortho PCBs	1.4	—	—	1.4	—	0.000041
Total DL-PCB(non-ortho PCBs + mono-ortho PCBs)	2.5	—	—	2.5	—	0.028
Total ダイオキシン類(PCDDs + PCDFs + DL-PCB)	30	—	—	29	—	0.34

- 備考 1. 実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 但し、同族体及び合計の実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満を含む濃度であることを示す。  
 2. 実測濃度欄の“ND”は、検出下限未満であることを示す。  
 3. 酸素12%換算濃度(C)は、次により算出した。  

$$C = \frac{21 - 12}{21 - O_s} \times C_s \quad (O_s = 11.8 \%)$$
  
 4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 5. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 6. 排ガス吸引量： 2169.9 L  
 7. 試料採取日： 2020年5月26日

ダイオキシン類測定結果

報告書番号 : ME03784

焼却灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.0009	0.1	0
1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.003	0.001	0.01	0.00003
OCDD	0.007	0.002	0.0003	0.0000022
Total PCDDs	—	—	—	0.000036
2,3,7,8-TeCDF	0.0012	0.0007	0.1	0.00012
1,2,3,7,8-PeCDF	0.0016	0.0003	0.03	0.000049
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	0.0031	0.0005	0.3	0.00092
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.002	0.001	0.1	0.0002
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.002	0.001	0.1	0.0002
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.0033	0.0009	0.1	0.00033
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.007	0.001	0.01	0.00007
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.0007	0.01	0
OCDF	0.002	0.001	0.0003	0.0000005
Total PCDFs	—	—	—	0.0019
Total (PCDDs+PCDFs)	—	—	—	0.0019
3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.0006	0.0003	0
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0022	0.0006	0.0001	0.0000022
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.0012	0.0004	0.1	0.00012
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0007	0.0002	0.03	0.000020
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.0003	0.00003	0
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+ 2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.0065	0.0006	0.00003	0.0000020
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+ 3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	0.003	0.001	0.00003	0.0000009
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+ 2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	0.0008	0.0006	0.00003	0.00000024
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	ND	0.0006	0.00003	0
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.0008	0.0005	0.00003	0.00000024
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.0007	0.00003	0
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.0005	0.0004	0.00003	0.00000014
Total DL-PCB(non-orthoPCBs+mono-orthoPCBs)	—	—	—	0.00014
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.0021

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 2020年5月26日

ダイオキシン類測定結果

報告書番号 : ME03784

飛灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	0.0016	0.0006	1	0.0016
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.0008	0.0007	0.1	0.00008
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0018	0.0009	0.1	0.00018
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0016	0.0007	0.1	0.00016
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.007	0.001	0.01	0.00007
OCDD	0.010	0.002	0.0003	0.0000029
Total PCDDs	—	—	—	0.0021
2,3,7,8-TeCDF	0.0034	0.0007	0.1	0.00034
1,2,3,7,8-PeCDF	0.0037	0.0003	0.03	0.00011
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	0.0052	0.0005	0.3	0.0015
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.004	0.001	0.1	0.0004
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.004	0.001	0.1	0.0004
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	0.001	0.001	0.1	0.0001
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.0046	0.0009	0.1	0.00046
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.012	0.001	0.01	0.00012
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0011	0.0007	0.01	0.000011
OCDF	0.004	0.001	0.0003	0.0000011
Total PCDFs	—	—	—	0.0035
Total (PCDDs + PCDFs)	—	—	—	0.0056
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.0010	0.0006	0.0003	0.00000030
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0028	0.0006	0.0001	0.00000028
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.0016	0.0004	0.1	0.00016
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0006	0.0002	0.03	0.000017
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.0006	0.0003	0.00003	0.000000017
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+ 2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.0073	0.0006	0.00003	0.00000022
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+ 3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	0.004	0.001	0.00003	0.00000011
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+ 2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	0.0011	0.0006	0.00003	0.000000032
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.0007	0.0006	0.00003	0.000000020
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.0010	0.0005	0.00003	0.000000031
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.0009	0.0007	0.00003	0.000000026
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.0008	0.0004	0.00003	0.000000024
Total DL-PCB(non-orthoPCBs + mono-orthoPCBs)	—	—	—	0.00017
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.0058

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 2020年5月26日



# 計 量 証 明 書

第 C2020050112 号

2020年 6月 5日

岐阜県揖斐郡大野町上秋字桑下34番地

有限会社 河野組 様

岐阜県計量証明事業本部  
(濃度第11号 騒音第1号 振動第1号)  
**株式会社 総合環境センター**  
〒509-0201 岐阜県揖斐郡川合136番地8  
TEL: 0574-63-7706 FAX: 0574-63-7706  
岐阜事業所 岐阜市西部菱野1丁目20番地  
中津川営業所 中津川市かやの木町3番8  
飛騨支所 高山市桐生町7丁目41番地  
飯田営業所 長野県飯田市松尾明7755番地2  
金沢事業所 石川県金沢市神野3丁目11番地1  
名古屋北営業所 愛知県犬山市大字五郎丸字隅田12番地2

環境計量士

市原



施 設 名	焼却センター 廃棄物焼却炉No.1		
測 定 場 所	煙道		
測 定 年 月 日	2020年 5月 26日	10時07分 ~ 12時28分	
測 定 者 氏 名	長谷川 広	大矢 恭輔	亀澤 大誠

上記に対する排ガス測定結果を次のとおり証明します。

計 量 の 対 象		計量の結果	単位	排出基準値	単位	判 定	
ばいじん	濃 度	0.18	g/m <sup>3</sup>				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.15	g/m <sup>3</sup>	0.25	g/m <sup>3</sup>	合	
硫黄酸化物	濃 度	8	volppm				
	* 排 出 量	0.06	m <sup>3</sup> /h	5.61	m <sup>3</sup> /h	合	
窒素酸化物	濃 度	70	volppm				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	58	volppm	250	volppm	合	
塩化水素	濃 度	8	mg/m <sup>3</sup>				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	7	mg/m <sup>3</sup>	700	mg/m <sup>3</sup>	合	
-以下余白-							
排出ガス量	湿り	* 10900 m <sup>3</sup> /h	排出ガス組成	CO <sub>2</sub>	* 10.0 vol%	O <sub>2</sub>	10.2 vol%
	乾き	* 7030 m <sup>3</sup> /h		CO	* 0.0 vol%	N <sub>2</sub>	* 79.8 vol%
水分量	* 35.5 vol%	排出ガス温度(平均)	* 80 °C	排出ガス流速(平均)	* 6.2 m/s		
<b>【測定方法】</b>							
ばいじん: JIS Z 8808.9.3.1 硫黄酸化物: JIS K 0103.7.1 窒素酸化物: JIS K 0104.7.1							
塩化水素: JIS K 0107.7.1							

(注1) volppm、mg/m<sup>3</sup>、g/m<sup>3</sup>、μg/m<sup>3</sup>及びm<sup>3</sup>/h は、標準状態(273.15K(0°C)、101.32kPa)における体積分率及び質量濃度である。  
 (注2) \*は計量対象外項目です。  
 (注3) 結果欄の未満表示の数値は定量下限値を示す。  
 (注4) 本証明書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。

# ダスト濃度測定記録

第 C2020050112 号

JIS Z 8808

ダスト濃度測定方法	捕集形式 採取方法	円筒ろ紙1形 移動採取法	捕集材質	シリカ
-----------	--------------	-----------------	------	-----

測定条件	測定点	d (mm φ)	v (m/s)	θs (°C)	Ps (kPa)	qm (L/min)
	1	10	6.0	80	0.0223	15.4
	2	10	7.0	80	0.0186	18.0
	3	10	5.7	80	0.0218	0.0
	4	10	6.2	80	0.0209	0.0

測定値	採取番号		1	2	3	4
	採取時刻		11:40~11:52			
	採取点		1 ~ 2			
	吸引ガス量	Vm (L)	200.0			
	ガスメータ温度	θm (°C)	27.0			
	飽和水蒸気圧	Pv (kPa)	0			
	ガスメータ圧力	Pm (kPa)	0.12			
	乾きガス量	V'N (m³)	0.1809			
	ろ紙	捕集後の質量	m2 (g)	1.82576		
		捕集前の質量	m1 (g)	1.79379		
	捕集ダスト質量	md (g)	0.03197			
	ダスト濃度	CN (g/m³)	0.17670			
	平均ダスト濃度	CN (g/m³)		0.18		
	捕集時の酸素濃度	Os (vol%)		10.2		
	O2 12 vol%換算値	C'N (g/m³)		0.15		
	ダスト排出量	S (kg/h)		1.3		

$$q_m = \frac{\pi}{4} \times d^2 \times v \times \left( \frac{100 - X_w}{100} \right) \times \frac{273.15 + \theta_m}{273.15 + \theta_s} \times \frac{P_a + P_s}{P_a + P_m - P_v} \times 60 \times 10^{-3}$$

$$V'_N = V_m \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32} \times 10^{-3}$$

$$C_N = \frac{m_d}{V'_N} \quad S = \bar{C}_N \times Q'_N \times 10^{-3}$$

$$\bar{C}_N = \frac{C_{N1} + C_{N2} \dots C_{Nn}}{n}$$

$$C'_N = \frac{21 - 0_n}{21 - 0_s} \times \bar{C}_N$$

排ガス温度 (θs): 80 °C  
 水分量 (Xw): 35.5 vol%  
 大気圧 (Pa): 100.60 kPa  
 乾き排ガス流量 (Q'N): 7030 m³/h

# 硫黄酸化物測定記録

第 C2020050112 号

JIS K 0103 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		11:43~12:03	12:08~12:28	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引ガス量 V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度 t (°C)	30.0	30.0	
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01	0.01	
	試料ガス採取量 Vs (L)	17.9	17.9	
分析	試料の溶液量 v (mL)	100	100	
	試料のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 a (mg/mL)	0.0091	0.0025	
	空試験のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 b (mg/mL)	< 0.0001	< 0.0001	
硫黄酸化物濃度 Cv (volppm)		11.8	3.3	
硫黄酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)		8		
硫黄酸化物排出量 S (m <sup>3</sup> /h)		0.06		

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_v = \frac{0.233 \times (a - b) \times v}{V_s} \times 1000$$

$$S = Q'_N \times \bar{C}_v \times 10^{-6}$$

大気圧 (Pa): 100.60 kPa

乾き排ガス流量 (Q'<sub>N</sub>): 7030 m<sup>3</sup>/h

# 硫黄酸化物排出基準計算書

第 C2020050112 号

## 1. 計算条件

排ガス温度	$\theta_s$ (°C)	80.0
排ガス流量	$Q_N$ (m <sup>3</sup> /h)	10900
排出口断面積	A (m <sup>2</sup> )	0.6358
排出口高さ	Ho (m)	15
笠の有無		笠無し

排出ガスの排出速度 (V) の計算

$$V = \frac{273 + \theta_s}{273} \times \frac{Q_N}{3600 \times A}$$

温度15度における排出ガス量の計算

$$Q = \frac{A \times V \times (273 + 15)}{273 + \theta_s}$$

## 2. 補正された排出口の高さ (He) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第2項による)

1) 笠あり

$$He = H_0 \text{ [m]}$$

2) 笠なし

$$He = H_0 + 0.65 \times (Hm + Ht) \text{ [m]}$$

$$Hm = \frac{0.795 \times \sqrt{Q \times V}}{1 + \frac{2.58}{V}}$$

$$Ht = 2.01 \times 10^{-3} \times Q \times (273 + \theta_s - 288) \times (2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1)$$

$$J = \frac{1}{\sqrt{Q \times V}} \left( 1460 - 296 \times \frac{V}{273 + \theta_s - 288} \right) + 1$$

## 3. 硫黄酸化物の排出基準を算出する硫黄酸化物量 (q) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第1項による)

$$q = K \times 10^{-3} \times (He)^2$$

K : 大気汚染防止法第三条第二項第一号の政令で定める地域ごとに別表第一の下欄に掲げる値

当該施設場所のK値	17.5
-----------	------

He : 補正された排出口の高さ

## 4. 計算結果のまとめ

補正された排出口の高さ	He (m)	18
硫黄酸化物の排出基準値	q (m <sup>3</sup> /h)	5.61
硫黄酸化物排出量	S (m <sup>3</sup> /h)	0.06
K値換算値		0.19

# 窒素酸化物測定記録

第 C2020050112 号

JIS K 0104 (Zn-NEDA法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		10:08	10:09	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量 Va (mL)	150.0	150.0	
	Vaを測定した時の温度 ts (°C)	25.0	25.0	
	ts°Cにおける飽和水蒸気圧 Pns (kPa)	3.17	3.17	
	標準状態の試料ガス採取量 Vs (mL)	132.1	132.1	
分析	試料溶液の希釈倍数 n	1	1	
	吸光度 E	0.108	0.083	
	試料の二酸化窒素体積 v (μL)	10.51	8.12	
窒素酸化物濃度 Cv (volppm)		79.5	61.4	
窒素酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)			70	
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)			10.2	
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C (volppm)			58	

$$V_{SD} = V_a \times \frac{273.15}{273.15 + t_s} \times \frac{P_a - P_{ns}}{101.32}$$

$$C_v = \frac{v \times n}{V_s} \times 1000$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_v$$

大気圧 (Pa): 100.60 kPa

# 塩化水素濃度測定記録

第 C2020050112 号

JIS K 0107 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		11:43~12:03	12:08~12:28	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量 V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度 t (°C)	30.0	30.0	
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01	0.01	
	標準状態における試料ガス採取量 Vs (L)	17.9	17.9	
分析	試料の溶液量 v (mL)	100	100	
	試料のCl <sup>-</sup> 濃度 a (mg/mL)	0.0023	0.0011	
	空試験のCl <sup>-</sup> 濃度 b (mg/mL)	0.0003	0.0003	
塩化水素濃度 Cw (mg/m <sup>3</sup> )		11.5	4.6	
塩化水素濃度 Cv (volppm)		7.1	2.8	
塩化水素濃度 (平均) $\bar{C}_w$ (mg/m <sup>3</sup> )			8	
塩化水素濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)			5	
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)			10.2	
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C (mg/m <sup>3</sup> )			7	
換算値 C' (volppm)			4	

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + t} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_w = \frac{1.03 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C_v = \frac{0.632 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_w$$

大気圧 (Pa): 100.60 kPa



# 計量証明書

第 C2020050113 号

1 / 1

2020年 6月 24日

岐阜県揖斐郡大野町上秋字桑下34番地

有限会社 河野組 様

岐阜県計量証明事業所  
 (濃度第11号 騒音第1号 振動第1号)  
**株式会社 総合環境センター**  
 〒509-0201 岐阜県可児郡川合136番地8  
 TEL 0574-63-7706  
 岐阜事業所 岐阜市西部菱野1丁目20番地  
 中津川営業所 中津川市かやの木町3番8  
 飛騨支所 高山市桐生町7丁目41番地  
 飯田営業所 長野県飯田市松尾明7755番地2  
 金沢事業所 石川県金沢市神野3丁目11番地1  
 名古屋北営業所 愛知県犬山市大字五郎丸字隅田12番地2

環境計量士

市原



施設名	焼却センター 廃棄物焼却炉No.1
測定場所	煙道
測定年月日	2020年 5月 26日 10時07分 ~ 14時43分
測定者氏名	長谷川 広 奥田 拓也 大矢 恭輔

上記に対する排ガス測定結果を次のとおり証明します。

計量の対象	計量の結果	単位	排出基準値	単位	判定		
全水銀	濃度	0.16	$\mu\text{g}/\text{m}^3$				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.14	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	50	$\mu\text{g}/\text{m}^3$ 合		
ガス状水銀	濃度	0.03 未満	$\mu\text{g}/\text{m}^3$				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.03 未満	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—		
粒子状水銀	濃度	0.16	$\mu\text{g}/\text{m}^3$				
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.14	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—		
—以下余白—							
排出ガス量	湿り	* 10900 m <sup>3</sup> /h	排出ガス組成	CO <sub>2</sub>	* 10.0 vol%	O <sub>2</sub>	10.2 vol%
	乾き	* 7030 m <sup>3</sup> /h		CO	* 0.0 vol%	N <sub>2</sub>	* 79.8 vol%
水分量	* 35.5 vol%	排出ガス温度(平均)	* 80 °C	排出ガス流速(平均)	* 6.2 m/s		

【測定方法】水銀:環境省告示第九十四号

※ 全水銀濃度は、ガス状水銀濃度と粒子状水銀濃度を合算した値となります。

数値の丸めの関係で濃度の和が一致しない場合があります。

(注1) volppm、mg/m<sup>3</sup>、g/m<sup>3</sup>、 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 及びm<sup>3</sup>/h は、標準状態(273.15K(0°C)、101.32kPa)における体積分率及び質量濃度である。

(注2) \*は計量対象外項目です。

(注3) 結果欄の未満表示の数値は検出下限値を示す。()表示の数値は定量下限値以上の値と同等の精度が保証できない値を含みます。

(注4) 本証明書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。



吉成化学研究所製薬部製

ダイオキシン類測定結果報告書

2019年8月2日

岐阜県  
西濃振興局揖斐事務所長

殿  
岐阜県揖斐郡土野町大字黒野1738番地の1  
有限会社河野組  
報告者 代表取締役 河野勝二



(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 排出ガス

採取年月日及び時刻(開始時刻~終了時刻)	排出ガス量(m <sup>3</sup> /日)	排出ガス中の酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	試料採取者	分析者	備考
2019/6/25 (12:05~16:05)	湿り 47120 乾き 34000	11.3		廃棄物焼却炉No.1 (8時間/日)	2019/6/28 ~ 2019/7/12	0.61	㈱総合保健センター	日鉄テクノゾー-㈱ 広畑事業所	排ガス

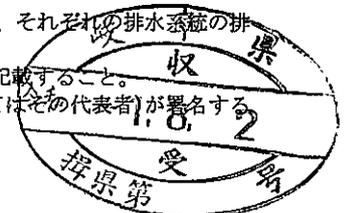
表2 排水水

採取年月日及び時刻	測定場所		特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(µg-TEQ/L)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量(m <sup>3</sup> /日)						

表3 ばいじん等

採取年月日及び時刻	試料の種類	採取箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考
2019/6/26	焼却灰		廃棄物焼却炉No.1	2019/6/28 ~ 2019/7/12	0.0046	有限会社河野組	日鉄テクノゾー-㈱ 広畑事業所	焼却灰
2019/6/26	飛灰		廃棄物焼却炉No.1	2019/6/28 ~ 2019/7/12	0.0079	有限会社河野組	日鉄テクノゾー-㈱ 広畑事業所	飛灰

- 備考
- 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(以下「規則」という。)第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。
  - 3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。
  - 4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。
  - 5 排出ガスにあっては表1、排水水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻(以下「ばいじん等」という。)にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。
  - 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
  - 7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。
  - 8 表3の試料の種類として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物(処理方法)の別を記載すること。
  - 9 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。



ダイオキシン類測定結果

証明番号 : MD06120

排ガス (0°C, 101.32kPa)	実測濃度 Cs (ng/m <sup>3</sup> )	試料ガス における 定量下限 (ng/m <sup>3</sup> )	試料ガス における 検出下限 (ng/m <sup>3</sup> )	酸素12% 換算濃度 C (ng/m <sup>3</sup> )	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )
2,3,7,8-TeCDD	0.031	0.0024	0.0007	0.029	1	0.029
TeCDDs	7.5	0.0024	0.0007	6.9	—	—
1,2,3,7,8-PeCDD	0.086	0.0012	0.0004	0.080	1	0.080
PeCDDs	4.1	0.0012	0.0004	3.8	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.044	0.0014	0.0004	0.041	0.1	0.0041
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.099	0.0016	0.0005	0.092	0.1	0.0092
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.059	0.0011	0.0003	0.055	0.1	0.0055
HxCDDs	2.2	0.0015	0.0005	2.0	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.21	0.0015	0.0005	0.19	0.01	0.0019
HpCDDs	0.44	0.0015	0.0005	0.41	—	—
OCDD	0.13	0.003	0.001	0.12	0.0003	0.000036
Total PCDDs	14	—	—	13	—	0.13
2,3,7,8-TeCDF	0.59	0.0008	0.0002	0.55	0.1	0.055
TeCDFs	23	0.0008	0.0002	22	—	—
1,2,3,7,8-PeCDF	0.53	0.0026	0.0008	0.49	0.03	0.015
2,3,4,7,8-PeCDF	0.73	0.0013	0.0004	0.68	0.3	0.20
PeCDFs	10	0.0026	0.0008	9.7	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.52	0.0012	0.0004	0.49	0.1	0.049
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.46	0.0021	0.0006	0.43	0.1	0.043
1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.019	0.0010	0.0003	0.018	0.1	0.0018
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.36	0.0019	0.0006	0.33	0.1	0.033
HxCDFs	3.8	0.0020	0.0006	3.6	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.60	0.0016	0.0005	0.55	0.01	0.0055
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.064	0.0024	0.0007	0.059	0.01	0.00059
HpCDFs	0.84	0.0022	0.0007	0.78	—	—
OCDF	0.12	0.004	0.001	0.11	0.0003	0.000033
Total PCDFs	38	—	—	36	—	0.40
Total (PCDDs+PCDFs)	53	—	—	49	—	0.53
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.88	0.0009	0.0003	0.82	0.0003	0.00025
3,3',4,4'-TeCB(#77)	1.4	0.0011	0.0003	1.3	0.0001	0.00013
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.77	0.0007	0.0002	0.71	0.1	0.071
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.13	0.0021	0.0006	0.12	0.03	0.0035
Total non-ortho PCBs	3.2	—	—	3.0	—	0.075
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.54	0.0006	0.0002	0.50	0.00003	0.000015
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	1.4	0.0013	0.0004	1.3	0.00003	0.000038
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.66	0.0013	0.0004	0.62	0.00003	0.000018
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.45	0.0009	0.0003	0.42	0.00003	0.000012
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.45	0.0009	0.0003	0.42	0.00003	0.000013
2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.51	0.0011	0.0003	0.47	0.00003	0.000014
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.21	0.0008	0.0002	0.20	0.00003	0.0000059
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.23	0.0012	0.0004	0.21	0.00003	0.0000063
Total mono-ortho PCBs	4.4	—	—	4.1	—	0.00012
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	7.6	—	—	7.1	—	0.075
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	60	—	—	56	—	0.61

- 備考 1. 実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 但し、同族体及び合計の実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満を含む濃度であることを示す。  
 2. 実測濃度欄の“ND”は、検出下限未満であることを示す。  
 3. 酸素12%換算濃度(C)は、次により算出した。

$$C = \frac{21 - 12}{21 - 0s} \times Cs \quad (0s = 11.3\%)$$

4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 5. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 6. 排ガス吸引量 : 2596.8 L  
 7. 試料採取日 : 2019年6月25日

ダイオキシン類測定結果

報告番号 : MD06151

焼却灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	0.0008	0.0006	1	0.0008
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.0009	0.0007	0.1	0.00009
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0017	0.0009	0.1	0.00017
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0012	0.0007	0.1	0.00012
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.006	0.001	0.01	0.00006
OCDD	0.008	0.002	0.0003	0.0000023
Total PCDDs	—	—	—	0.0013
2,3,7,8-TeCDF	0.0027	0.0007	0.1	0.00027
1,2,3,7,8-PeCDF	0.0022	0.0003	0.03	0.000065
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	0.0052	0.0005	0.3	0.0015
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.004	0.001	0.1	0.0004
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.003	0.001	0.1	0.0003
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.0045	0.0009	0.1	0.00045
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.008	0.001	0.01	0.00008
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0010	0.0007	0.01	0.000010
OCDF	0.002	0.001	0.0003	0.0000006
Total PCDFs	—	—	—	0.0031
Total (PCDDs+PCDFs)	—	—	—	0.0043
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.0011	0.0006	0.0003	0.00000033
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0036	0.0006	0.0001	0.00000036
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.0030	0.0004	0.1	0.00030
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0007	0.0002	0.03	0.000021
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.0003	0.00003	0
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.0051	0.0006	0.00003	0.00000015
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	0.003	0.001	0.00003	0.00000009
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	0.0008	0.0006	0.00003	0.000000024
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.0008	0.0006	0.00003	0.000000023
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.0013	0.0005	0.00003	0.000000040
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.0007	0.0007	0.00003	0.000000022
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.0010	0.0004	0.00003	0.000000029
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	—	—	—	0.00032
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.0046

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 2019年6月26日

ダイオキシン類測定結果

報告番号 : MD06151

飛灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	0.0015	0.0006	1	0.0015
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.0016	0.0007	0.1	0.00016
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0038	0.0009	0.1	0.00038
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.0023	0.0007	0.1	0.00023
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.011	0.001	0.01	0.00011
OCDD	0.010	0.002	0.0003	0.000030
Total PCDDs	—	—	—	0.0024
2,3,7,8-TeCDF	0.0022	0.0007	0.1	0.00022
1,2,3,7,8-PeCDF	0.0065	0.0003	0.03	0.00020
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	0.0074	0.0005	0.3	0.0022
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.005	0.001	0.1	0.0005
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.010	0.001	0.1	0.0010
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	0.002	0.001	0.1	0.0002
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.0073	0.0009	0.1	0.00073
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.012	0.001	0.01	0.00012
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0014	0.0007	0.01	0.000014
OCDF	0.005	0.001	0.0003	0.000016
Total PCDFs	—	—	—	0.0051
Total (PCDDs+PCDFs)	—	—	—	0.0076
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.0018	0.0006	0.0003	0.0000055
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0030	0.0006	0.0001	0.0000030
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.0035	0.0004	0.1	0.00035
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0016	0.0002	0.03	0.000049
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.0016	0.0003	0.00003	0.00000048
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.017	0.0006	0.00003	0.0000051
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	0.010	0.001	0.00003	0.0000029
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	0.0022	0.0006	0.00003	0.00000067
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.0008	0.0006	0.00003	0.00000025
2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.0017	0.0005	0.00003	0.00000050
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.0024	0.0007	0.00003	0.00000073
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.0012	0.0004	0.00003	0.00000037
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	—	—	—	0.00040
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.0079

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 2019年6月26日



# 計 量 証 明 書

第 C2019060163 号

2019年 7月 3日

岐阜県揖斐郡大野町上秋字桑下34番地

有限会社 河野組 様

岐阜県計量証明事業登録  
(濃度第11号・騒音第8号・振動第1号)

株式会社総合保健センター

〒509-0201 岐阜県河内市川谷16番地8

TEL 0574-63-7703 FAX 0574-63-7706

岐阜事業所 岐阜市茜部菱野1丁目20番地

中津川営業所 中津川市中津川2973番地6

飛騨支所 高山市桐生町7丁目41番地

飯田営業所 長野県飯田市松尾明7755番地2

金沢事業所 石川県金沢市神野3丁目11番地1

名古屋北営業所 愛知県犬山市大字五郎丸字隅田12番地2

環境計量士

市原 壽



施 設 名	焼却センター 廃棄物焼却炉No.1
測 定 場 所	煙道
測 定 年 月 日	2019年 6月 25日 10時35分 ~ 13時02分
測 定 者 氏 名	長谷川 広 後藤 雅也 奥田 拓也

上記に対する排ガス測定結果を次のとおり証明します。

計 量 の 対 象	計量の結果	単位	排出基準値	単位	判 定
ばいじん	濃 度	0.07			
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.049	g/m <sup>3</sup>	0.25	g/m <sup>3</sup> 合
硫黄酸化物	濃 度	5 未満	volppm		
	* 排 出 量	0.03 未満	m <sup>3</sup> /h	4.62	m <sup>3</sup> /h 合
窒素酸化物	濃 度	10	volppm		
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	7	volppm	250	volppm 合
塩化水素	濃 度	6	mg/m <sup>3</sup>		
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	4	mg/m <sup>3</sup>	700	mg/m <sup>3</sup> 合
-以下余白-					
排出ガス量		湿り * 5890 m <sup>3</sup> /h	排出ガス組成		
		乾き * 4250 m <sup>3</sup> /h	CO <sub>2</sub> * 12.0 vol%	O <sub>2</sub> 8.2 vol%	
			CO * 0.0 vol%	N <sub>2</sub> * 79.8 vol%	
水分量 * 27.8 vol%	排出ガス温度(平均) * 63 °C	排出ガス流速(平均) * 3.2 m/s			
【測定方法】					
ばいじん: JIS Z 8808.9.3.1 硫黄酸化物: JIS K 0103.7.1 窒素酸化物: JIS K 0104.7.1					
塩化水素: JIS K 0107.7.1					

(注1) volppm、mg/m<sup>3</sup>、g/m<sup>3</sup>、μg/m<sup>3</sup>及びm<sup>3</sup>/h は、標準状態(273.15K(0°C)、101.32kPa)における体積分率及び質量濃度である。

(注2) \*は計量対象外項目です。

(注3) 結果欄の未満表示の数値は定量下限値を示す。

(注4) 本証明書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。

# 硫黄酸化物測定記録

第 C2019060163 号

JIS K 0103 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		12:17~12:37	12:42~13:02	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引ガス量 V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度 t (°C)	32.0	31.0	
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01	0.01	
	試料ガス採取量 Vs (L)	17.8	17.9	
分析	試料の溶液量 v (mL)	100	100	
	試料のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 a (mg/mL)	0.0017	0.0020	
	空試験のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 b (mg/mL)	< 0.0001	< 0.0001	
硫黄酸化物濃度 Cv (volppm)		2.2	2.6	
硫黄酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)			< 5	
硫黄酸化物排出量 S (m <sup>3</sup> /h)			< 0.03	

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_v = \frac{0.233 \times (a - b) \times v}{V_s} \times 1000$$

$$S = Q'_N \times \bar{C}_v \times 10^{-6}$$

大気圧 (Pa): 101.00 kPa

乾き排ガス流量 (Q'<sub>N</sub>): 4250 m<sup>3</sup>/h

# 硫黄酸化物排出基準計算書

第 C2019060163 号

## 1. 計算条件

排ガス温度	$\theta_s$ (°C)	63.0
排ガス流量	$Q_N$ (m <sup>3</sup> /h)	5890
排出口断面積	A (m <sup>2</sup> )	0.6358
排出口高さ	$H_0$ (m)	15
笠の有無		笠無し

排出ガスの排出速度 (V) の計算

$$V = \frac{273 + \theta_s}{273} \times \frac{Q_N}{3600 \times A}$$

温度15度における排出ガス量の計算

$$Q = \frac{A \times V \times (273 + 15)}{273 + \theta_s}$$

## 2. 補正された排出口の高さ (He) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第2項による)

1) 笠あり

$$He = H_0 \text{ [m]}$$

2) 笠なし

$$He = H_0 + 0.65 \times (H_m + H_t) \text{ [m]}$$

$$H_m = \frac{0.795 \times \sqrt{Q \times V}}{1 + \frac{2.58}{V}}$$

$$H_t = 2.01 \times 10^{-3} \times Q \times (273 + \theta_s - 288) \times (2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1)$$

$$J = \frac{1}{\sqrt{Q \times V}} (1460 - 296 \times \frac{V}{273 + \theta_s - 288}) + 1$$

## 3. 硫黄酸化物の排出基準を算出する硫黄酸化物量 (q) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第1項による)

$$q = K \times 10^{-3} \times (He)^2$$

K : 大気汚染防止法第三条第二項第一号の政令で定める地域ごとに別表第一の下欄に掲げる値

当該施設場所のK値	17.5
-----------	------

He : 補正された排出口の高さ

## 4. 計算結果のまとめ

補正された排出口の高さ	He (m)	16
硫黄酸化物の排出基準値	q (m <sup>3</sup> /h)	4.62
硫黄酸化物排出量	S (m <sup>3</sup> /h)	< 0.03
K値換算値		< 0.12

# 窒素酸化物測定記録

第 C2019060163 号

JIS K 0104 (Zn-NEDA法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		10:37	10:38	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量 Va (mL)	144.0	148.0	
	Vaを測定した時の温度 ts (°C)	30.0	30.0	
	ts°Cにおける飽和水蒸気圧 Pns (kPa)	4.24	4.24	
	標準状態の試料ガス採取量 Vs (mL)	123.9	127.4	
分析	試料溶液の希釈倍数 n	1	1	
	吸光度 E	0.011	0.012	
	試料の二酸化窒素体積 v (μL)	1.23	1.28	
窒素酸化物濃度 Cv (volppm)		9.9	10.1	
窒素酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)		10		
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)		8.2		
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C (volppm)		7		

$$V_{SD} = V_a \times \frac{273.15}{273.15 + t_s} \times \frac{P_a - P_{ns}}{101.32}$$

$$C_v = \frac{v \times n}{V_s} \times 1000$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_v$$

大気圧 (Pa): 101.00 kPa

# 塩化水素濃度測定記録

第 C2019060163 号

JIS K 0107 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号			1	2	3
採取時刻			12:17~12:37	12:42~13:02	
採取点			中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量	V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度	t (°C)	32.0	31.0	
	飽和水蒸気圧	Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力	Pm (kPa)	0.01	0.01	
	標準状態における試料ガス採取量	Vs (L)	17.8	17.9	
分析	試料の溶液量	v (mL)	100	100	
	試料のCl <sup>-</sup> 濃度	a (mg/mL)	0.0012	0.0012	
	空試験のCl <sup>-</sup> 濃度	b (mg/mL)	0.0001	0.0001	
塩化水素濃度		Cw (mg/m <sup>3</sup> )	6.3	6.3	
塩化水素濃度		Cv (volppm)	3.9	3.9	
塩化水素濃度 (平均)		$\bar{C}_w$ (mg/m <sup>3</sup> )		6	
塩化水素濃度 (平均)		$\bar{C}_v$ (volppm)		4	
捕集時の酸素濃度		Os (vol%)		8.2	
O <sub>2</sub>	12 vol%換算値	C (mg/m <sup>3</sup> )		4	
換算値		C' (volppm)		3	

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + t} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_w = \frac{1.03 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C_v = \frac{0.632 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_w$$

大気圧 (Pa): 101.00 kPa



# 計量証明書

第 C2019060164 号

2019年 7月 3日

岐阜県揖斐郡大野町上秋字桑下34番地

有限会社 河野組 様

岐阜県計量証明事業団  
(濃度第11号・騒音第8号・振動第5号)

株式会社総合保健センター

〒509-0201 岐阜県河原町川合196番地8

TEL 0574-63-7703 FAX 0574-66-7706

岐阜事業所 岐阜市茜部菱野1丁目20番地

中津川営業所 中津川市中津川2973番地6

飛騨支所 高山市桐生町7丁目41番地

飯田営業所 長野県飯田市松尾明7755番地2

金沢事業所 石川県金沢市神野3丁目11番地1

名古屋北営業所 愛知県犬山市大字五郎丸字隅田12番地2

環境計量士

市原 壽



施設名	焼却センター 廃棄物焼却炉No.1		
測定場所	煙道		
測定年月日	2019年 6月 25日	10時35分	～ 15時15分
測定者氏名	長谷川 広	後藤 雅也	奥田 拓也

上記に対する排ガス測定結果を次のとおり証明します。

計量の対象	計量の結果	単位	排出基準値	単位	判定		
全水銀	濃度	1.9					
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	1.3	50	μg/m <sup>3</sup>	合		
ガス状水銀	濃度	1.9					
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	1.3	—	μg/m <sup>3</sup>	—		
粒子状水銀	濃度	0.043					
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.030	—	μg/m <sup>3</sup>	—		
—以下余白—							
排出ガス量	湿り *	5890 m <sup>3</sup> /h	排出ガス組成	CO <sub>2</sub> *	12.0 vol%	O <sub>2</sub>	8.2 vol%
	乾き *	4250 m <sup>3</sup> /h		CO *	0.0 vol%	N <sub>2</sub> *	79.8 vol%
水分量 *	27.8 vol%	排出ガス温度(平均) *	63 °C	排出ガス流速(平均) *	3.2 m/s		

【測定方法】水銀:環境省告示第九十四号

※ 全水銀濃度は、ガス状水銀濃度と粒子状水銀濃度を合算した値となります。

数値の丸めの関係で濃度の和が一致しない場合があります。

(注1) volppm、mg/m<sup>3</sup>、g/m<sup>3</sup>、μg/m<sup>3</sup>及びm<sup>3</sup>/h は、標準状態(273.15K(0°C)、101.32kPa)における体積分率及び質量濃度である。

(注2) \*は計量対象外項目です。

(注3) 結果欄の未滴表示の数値は検出下限値を示す。()表示の数値は定量下限値以上の値と同等の精度が保証できない値を含みます。

(注4) 本証明書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。

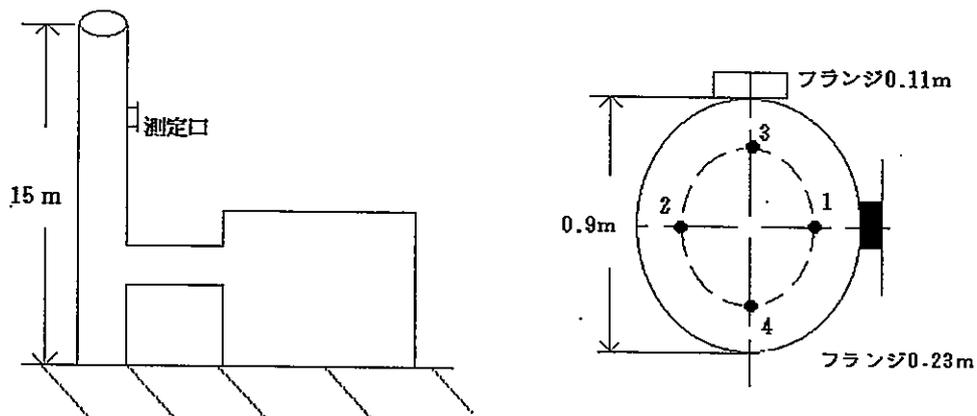


# ばい煙発生施設の概要

第 C2019060164 号

名称及び型式						
設置年月日						
※届出ベースで 模記入	伝熱面積	m <sup>2</sup>		蒸発量	kg/h	
	バーナーの燃焼能力					
	火格子面積	m <sup>2</sup>				
	燃焼能力					
	最大排出ガス量	m <sup>3</sup> /h				
燃  料	種類	木屑. 紙屑. 廃プラスチック				
	測定時の使用量					
	組成	密度	g/cm <sup>3</sup>	15 °C 硫黄分	wt% 窒素分	wt%
		発熱量	MJ/kg			
処理施設						
排気設備	測定箇所 の形状、寸法	円形	φ 0.9 m	断面積	0.6358 m <sup>2</sup>	
	煙突頂口 の形状、寸法	円形	φ 0.9 m	断面積	0.6358 m <sup>2</sup>	
	煙突の高さ	15	m	笠の区分	無	
備考						

測定位置における断面積



# ガス組成分析記録

JIS K 0301 (オルザット式分析方法)

第 C2019060164 号

No.	測定時刻	測定点	二酸化炭素 CO <sub>2</sub> (vol%)	酸素 O <sub>2</sub> (vol%)	一酸化炭素 CO(vol%)	窒素 N <sub>2</sub> (vol%)	空気比 m	ρ <sub>N</sub> (kg/m <sup>3</sup> )
1	10:35	中心点	12.0	8.2	0.0	79.8		
2	10:36	中心点	12.0	8.2	0.0	79.8		
3								
4								
平均			12.0	8.2	0.0	79.8	1.63	1.20

# 水分量測定記録

JIS Z 8808 (吸湿管による方法)

No.	測定時刻	測定点	吸引ガス量	ガス温度	飽和水蒸気圧	ガス圧力	吸湿後質量	吸湿前質量	吸湿水分質量	水分量
			V <sub>m</sub>	θ <sub>m</sub>	P <sub>v</sub>	P <sub>m</sub>	ma <sub>2</sub>	ma <sub>1</sub>	ma	X <sub>w</sub>
			(L)	(°C)	(kPa)	(kPa)	(g)	(g)	(g)	(vol%)
1	10:39	中心点	5.0	44.0	0.00	0.01	272.83	271.50	1.33	27.8
2										
3										
4										
平均									27.8	

$$m = \frac{N_2}{N_2 - 3.76(O_2 - 0.5 \times CO)}$$

$$\rho_N = \frac{1}{22.41 \times 100} \{ (44 \times CO_2 + 32 \times O_2 + 28 \times N_2) \frac{100 - X_w}{100} + 18.02 \times X_w \}$$

$$X_w = \frac{\frac{22.41}{18.02} \times ma \times 100}{V_m \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{Pa + P_m - P_v}{101.32} + \frac{22.41}{18.02} \times ma}$$

大気圧 (Pa): 101.00 kPa

# 流速・流量測定記録

JIS Z 8808 (ピトー管法)

第 C2019060164 号

測定時刻 10:40		ピトー管の種類 ウェスタン		ピトー管係数 C 0.844		
大気圧 Pa 101.00 kPa		標準状態における密度 $\rho_N$ 1.20 kg/m <sup>3</sup>		密度 $\rho$ 0.97 kg/m <sup>3</sup>		
番号	測定点	動圧 Pd (kPa)	静圧 Ps (kPa)	全圧 Pt (kPa)	排ガス温度 $\theta_s$ (°C)	流速 v (m/s)
1	1	0.0080	-0.0097	-0.0040	63	3.4
2	2	0.0080	-0.0137	-0.0080	63	3.4
3	3	0.0040	-0.0108	-0.0080	63	2.4
4	4	0.0080	-0.0097	-0.0040	63	3.4
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
平均排ガス温度		$\bar{\theta}_s$	(°C)	63		
平均静圧		$\bar{P}_s$	(kPa)	-0.0110		
平均流速		$\bar{v}$	(m/s)	3.2		
湿り排ガス流量		$Q_N$	(m <sup>3</sup> /h)	5890		
乾き排ガス流量		$Q'_N$	(m <sup>3</sup> /h)	4250		

$$\rho = \rho_N \times \frac{273.15}{273.15 + \bar{\theta}_s} \times \frac{P_a + \bar{P}_s}{101.32}$$

$$v = \sqrt{2 \times (P_d \times 1000) / \rho} \times C$$

$$Q_N = A \times 3600 \times \frac{273.15}{273.15 + \bar{\theta}_s} \times \frac{P_a + \bar{P}_s}{101.32} \times \bar{v}$$

$$Q'_N = Q_N \times \left(1 - \frac{X_w}{100}\right)$$

$$P_s = P_t - (C^2 \times P_d)$$

水分量 (X<sub>w</sub>) 27.8 vol%

測定口位置断面積 (A) 0.6358 m<sup>2</sup>

# ガス状水銀濃度測定記録

第 C2019060164 号

環境省告示第九十四号(湿式酸分解法-還元気化-原子吸光法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		13:15~15:15		
採取点		中心点		
採取条件	吸引ガス量 V (L)	120.0		
	ガスメータ温度 $\theta_m$ (°C)	31.0		
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00		
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01		
	試料ガス採取量 V' (L)	107		
分析	検量線で求めた水銀の濃度 A (ng)	204.17		
	各回のガス状水銀濃度 Cg ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1.9		
検出下限値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )			0.03	
定量下限値 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )			0.09	
平均ガス状水銀濃度 $\bar{C}_g$ ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )			1.9	
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)			8.2	
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C'g ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )			1.3	

$$V' = V \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{Pa + Pm - Pv}{101.32}$$

$$C_g = \frac{A}{V'}$$

$$\bar{C}_g = \frac{C_g^1 + C_g^2 + \dots + C_g^n}{n}$$

$$C'g = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_g$$

大気圧 (Pa): 101.00 kPa  
標準酸素濃度 (O<sub>n</sub>): 12 vol%

# 粒子状水銀濃度測定記録

環境省告示第九十四号(湿式酸分解法-還元気化-原子吸光法)

第 C2019060164 号

水銀濃度 測定方法	捕集形式	円筒ろ紙1形	捕集材質	シリカ		
	採取方法	各点採取法				

採 取 条 件	測定点	ノズル内径 d (mm φ)	排ガス流速 v (m/s)	排ガス温度 θs (°C)	静圧 Ps (kPa)	等速吸引流量 qm (L/min)
	1	12	3.4	63	-0.0097	15.8
	2	12	3.4	63	-0.0137	0.0
	3	12	2.4	63	-0.0108	0.0
	4	12	3.4	63	-0.0097	0.0

採 取 条 件	採取番号	1	2	3	4	
	採取時刻	13:15~14:31				
	採取点	1				
	吸引ガス量 Vm (L)	1200.0				
	ガスメータ温度 θm (°C)	44.0				
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0				
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.12				
	試料ガス採取量 V' (m³)	1.03				
分 析	検量線で求めた 水銀濃度 A (ng)	44.64				
	各回の粒子状水銀濃度 Cq (μg/m³)	0.043				
	検出下限値 (μg/m³)	0.002				
	定量下限値 (μg/m³)	0.007				
	平均粒子状水銀濃度 Cq̄ (μg/m³)	0.043				
	捕集時の酸素濃度 Os (vol%)	8.2				
	O₂ 12 vol%換算値 C'q (μg/m³)	0.030				

$$q_m = \frac{\pi}{4} \times d^2 \times v \times \left( \frac{100 - X_w}{100} \right) \times \frac{273.15 + \theta_m}{273.15 + \theta_s} \times \frac{P_a + P_s}{P_a + P_m - P_v} \times 60 \times 10^{-3}$$

$$V' = V_m \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32} \times 10^{-3}$$

$$C_q = \frac{A}{V'} \times 10^{-3}$$

$$\bar{C}_q = \frac{C_{q1} + C_{q2} \dots C_{qn}}{n}$$

$$C'q = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_q$$

水分量 (Xw): 27.8 vol%  
 大気圧 (Pa): 101.00 kPa  
 標準酸素濃度 (On): 12 vol%



様式第6 (第8条関係)

ダイオキシン類測定結果報告書

2018年11月11日

岐阜県  
西濃振興局 環境事務所長

岐阜県揖斐郡大野町大字黒野1738番地の1  
有限会社河野組  
代表取締役 河野勝二



(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 排出ガス

採取年月日及び時刻(開始時刻～終了時刻)	排出ガス量(m <sup>3</sup> /日)	排出ガス中の酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	試料採取者	分析者	備考
2018/11/6 (11:14~15:14)	湿り 69120 乾き 60800	12.3		廃棄物焼却炉No.1 (8時間/日)	2018/11/20 ~ 2018/12/11	0.12	協総合保健センター	日鉄住金テクノロジ-㈱ 広畑事業所	排ガス

表2 排水水

採取年月日及び時刻	測定場所		特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(pg-TEQ/L)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量(m <sup>3</sup> /日)						

表3 ばいじん等

採取年月日及び時刻	試料の種類	採取箇所	特定施設の名称及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng-TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考
2018/11/6	焼却灰		廃棄物焼却炉No.1	2018/11/20 ~ 2018/12/11	0.000012	有限会社河野組	日鉄住金テクノロジ-㈱ 広畑事業所	焼却灰
2018/11/6	飛灰		廃棄物焼却炉No.1	2018/11/20 ~ 2018/12/11	0.0043	有限会社河野組	日鉄住金テクノロジ-㈱ 広畑事業所	飛灰

- 備考 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(以下「規則」という。)第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。  
 3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。  
 4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。  
 5 排出ガスにあっては表1、排水水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻(以下「ばいじん等」という。)にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。  
 6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。  
 7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあつては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。  
 8 表3の試料の種類として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物(処理方法)の別を記載すること。  
 9 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。



ダイオキシン類測定結果

証明書番号 : MC17031

排ガス (0°C, 101.32kPa)	実測濃度 Cs (ng/m <sup>3</sup> )	試料ガス における 定量下限 (ng/m <sup>3</sup> )	試料ガス における 検出下限 (ng/m <sup>3</sup> )	酸素12% 換算濃度 C (ng/m <sup>3</sup> )	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )
2,3,7,8-TeCDD	0.012	0.0010	0.0003	0.012	1	0.012
TeCDDs	1.8	0.0010	0.0003	1.9	—	—
1,2,3,7,8-PeCDD	0.030	0.0019	0.0006	0.031	1	0.031
PeCDDs	0.99	0.0019	0.0006	1.0	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.013	0.004	0.001	0.014	0.1	0.0014
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.020	0.0027	0.0008	0.021	0.1	0.0021
1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.012	0.004	0.001	0.012	0.1	0.0012
HxCDDs	0.43	0.004	0.001	0.45	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.035	0.0008	0.0002	0.037	0.01	0.00037
HpCDDs	0.085	0.0008	0.0002	0.088	—	—
OCDD	0.034	0.003	0.001	0.035	0.0003	0.000011
Total PCDDs	3.4	—	—	3.5	—	0.048
2,3,7,8-TeCDF	0.11	0.003	0.001	0.11	0.1	0.011
TeCDFs	3.9	0.003	0.001	4.0	—	—
1,2,3,7,8-PeCDF	0.079	0.0021	0.0006	0.082	0.03	0.0025
2,3,4,7,8-PeCDF	0.11	0.0009	0.0003	0.12	0.3	0.035
PeCDFs	1.7	0.0020	0.0006	1.7	—	—
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.056	0.0020	0.0006	0.058	0.1	0.0058
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.056	0.0015	0.0005	0.058	0.1	0.0058
1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.0046	0.0019	0.0006	0.0048	0.1	0.00048
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.060	0.0014	0.0004	0.062	0.1	0.0062
HxCDFs	0.55	0.0019	0.0006	0.57	—	—
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.075	0.0013	0.0004	0.077	0.01	0.00077
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0096	0.0018	0.0005	0.0099	0.01	0.000099
HpCDFs	0.12	0.0017	0.0005	0.12	—	—
OCDF	0.013	0.0012	0.0004	0.014	0.0003	0.0000041
Total PCDFs	6.3	—	—	6.5	—	0.068
Total (PCDDs+PCDFs)	9.7	—	—	10	—	0.12
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.048	0.0010	0.0003	0.050	0.0003	0.000015
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.17	0.0005	0.0002	0.18	0.0001	0.000018
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.068	0.0008	0.0002	0.071	0.1	0.0071
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.013	0.0022	0.0007	0.014	0.03	0.00042
Total non-ortho PCBs	0.30	—	—	0.31	—	0.0075
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.020	0.0011	0.0003	0.021	0.00003	0.0000063
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.13	0.0010	0.0003	0.13	0.00003	0.0000040
2,3,3',4,4',5'-PeCB(#105)	0.090	0.0013	0.0004	0.093	0.00003	0.0000028
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.022	0.0010	0.0003	0.023	0.00003	0.0000069
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.022	0.0020	0.0006	0.022	0.00003	0.0000067
2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.041	0.0019	0.0006	0.042	0.00003	0.0000013
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.022	0.0014	0.0004	0.022	0.00003	0.0000067
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.019	0.0010	0.0003	0.019	0.00003	0.0000057
Total mono-ortho PCBs	0.36	—	—	0.38	—	0.000011
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	0.67	—	—	0.69	—	0.0075
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	10	—	—	11	—	0.12

- 備考 1. 実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 但し、同族体及び合計の実測濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満を含む濃度であることを示す。  
 2. 実測濃度欄の“ND”は、検出下限未満であることを示す。  
 3. 酸素12%換算濃度(C)は、次により算出した。  

$$C = \frac{21 - 12}{21 - O_s} \times C_s \quad (O_s = 12.3\%)$$
  
 4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 5. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 6. 排ガス吸引量： 3055.8 L<sub>N</sub>  
 7. 試料採取日：平成30年11月6日

ダイオキシン類測定結果

報告番号 : MC17034

焼却灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.0009	0.1	0
1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.001	0.001	0.01	0.00001
OCDD	0.002	0.002	0.0003	0.0000007
Total PCDDs	—	—	—	0.000012
2,3,7,8-TeCDF	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.0003	0.03	0
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	ND	0.0005	0.3	0
1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	ND	0.0009	0.1	0
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	ND	0.001	0.01	0
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.0007	0.01	0
OCDF	ND	0.001	0.0003	0
Total PCDFs	—	—	—	0
Total (PCDDs+PCDFs)	—	—	—	0.000012
3,4,4',5'-TeCB(#81)	ND	0.0006	0.0003	0
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0014	0.0006	0.0001	0.00000014
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	ND	0.0004	0.1	0
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	ND	0.0002	0.03	0
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	ND	0.0003	0.00003	0
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.0020	0.0006	0.00003	0.000000059
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	ND	0.001	0.00003	0
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	ND	0.0006	0.00003	0
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	ND	0.0006	0.00003	0
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	ND	0.0005	0.00003	0
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	ND	0.0007	0.00003	0
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.0004	0.00003	0
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	—	—	—	0.00000020
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.000012

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 平成30年11月6日

ダイオキシン類測定結果

報告番号 : MC17034

飛灰	実測濃度 (ng/g-dry)	試料に おける 定量下限 (ng/g-dry)	毒性等価 係数 TEF	毒性当量 (ng-TEQ/g-dry)
2,3,7,8-TeCDD	ND	0.0006	1	0
1,2,3,7,8-PeCDD	0.0017	0.0006	1	0.0017
1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.0016	0.0009	0.1	0.00016
1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.0007	0.1	0
1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.004	0.001	0.01	0.00004
OCDD	0.006	0.002	0.0003	0.0000019
Total PCDDs	—	—	—	0.0020
2,3,7,8-TeCDF	0.0041	0.0007	0.1	0.00041
1,2,3,7,8-PeCDF	0.0027	0.0003	0.03	0.000080
2,3,4,7,8+1,2,3,6,9-PeCDF	0.0030	0.0005	0.3	0.00091
1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.002	0.001	0.1	0.0002
1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.002	0.001	0.1	0.0002
1,2,3,7,8,9+1,2,3,4,8,9-HxCDF	ND	0.001	0.1	0
2,3,4,6,7,8+1,2,3,6,8,9-HxCDF	0.0029	0.0009	0.1	0.00029
1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.005	0.001	0.01	0.00005
1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.0008	0.0007	0.01	0.000008
OCDF	0.004	0.001	0.0003	0.0000013
Total PCDFs	—	—	—	0.0021
Total (PCDDs+PCDFs)	—	—	—	0.0041
3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.0016	0.0006	0.0003	0.00000048
3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.0039	0.0006	0.0001	0.00000039
3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.0024	0.0004	0.1	0.00024
3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.0006	0.0002	0.03	0.000017
2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.0007	0.0003	0.0003	0.00000020
2,3',4,4',5'-PeCB(#118)+2,3,3',4,5'-PeCB(#106)	0.0034	0.0006	0.0003	0.00000010
2,3,3',4,4'-PeCB(#105)+3,3',4,5,5'-PeCB(#127)	0.003	0.001	0.0003	0.00000009
2,3,4,4',5'-PeCB(#114)+2,3,3',4',5'-PeCB(#122)	0.0009	0.0006	0.0003	0.00000027
2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	ND	0.0006	0.0003	0
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.0012	0.0005	0.0003	0.00000035
2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.0007	0.0007	0.0003	0.00000021
2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	ND	0.0004	0.0003	0
Total DL-PCB(non-ortho PCBs+mono-ortho PCBs)	—	—	—	0.00025
Total ダイオキシン類(PCDDs+PCDFs+DL-PCB)	—	—	—	0.0043

- 備考 1. 実測濃度欄の“ND”は、定量下限未満であることを示す。  
 2. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 3. 毒性当量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。  
 4. 試料量 : 20.0 g-dry  
 5. 試料採取日 : 平成30年11月6日



# 計 量 証 明 書

第 C2018110414 号

1 / 1

平成30年11月 9日

岐阜県揖斐郡大野町上秋字桑下34番地

有限会社 河野組 様

岐阜県計量証明事業登録  
(濃度第11号・騒音第8号・振動第1号)

株式会社総合保健センター

〒509-0201 岐阜県河合市川合136番地8

TEL 0574-63-7703 FAX 0574-63-7706

岐阜事業所 岐阜市茜部菱野1丁目20番地

中津川営業所 中津川市中津川2973番地6

飛騨支所 高山市桐生町7丁目41番地

飯田営業所 長野県飯田市松尾明7755番地2

金沢事業所 石川県金沢市神野3丁目11番地1

名古屋北営業所 愛知県犬山市大字五郎丸字隅田12番地2

環境計量士

市原 壽



施設名	焼却センター 廃棄物焼却炉No.1
測定場所	煙道
測定年月日	平成30年11月 6日 10時32分 ~ 12時01分
測定者氏名	後藤 雅也 奥田 拓也 渡邊 潤也

上記に対する排ガス測定結果を次のとおり証明します。

計 量 の 対 象	計量の結果	単位	排出基準値	単位	判 定
ばいじん	濃 度	0.05			
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	0.043	0.25	g/m <sup>3</sup>	合
硫黄酸化物	濃 度	5 未満			
	* 排 出 量	0.04 未満	5.15	m <sup>3</sup> /h	合
窒素酸化物	濃 度	22			
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	19	250	volppm	合
塩化水素	濃 度	6			
	* O <sub>2</sub> 12 vol%換算	5	700	mg/m <sup>3</sup>	合
-以下余白-					
排出ガス量	湿り *	8640 m <sup>3</sup> /h	排出ガス組成	CO <sub>2</sub> *	6.2 vol%
	乾き *	7600 m <sup>3</sup> /h		CO *	0.0 vol%
水分量 *	12.0 vol%	排出ガス温度(平均) *	75 °C	排出ガス流速(平均) *	4.8 m/s
【測定方法】					
ばいじん: JIS Z 8808.9.3.1 硫黄酸化物: JIS K 0103.7.1 窒素酸化物: JIS K 0104.7.1					
塩化水素: JIS K 0107.7.1					

(注1) volppm、mg/m<sup>3</sup>、g/m<sup>3</sup>、μg/m<sup>3</sup>及v<sup>3</sup>/h は、標準状態(273.15K(0°C)、101.32kPa)における体積分率及び質量濃度である。

(注2) \*は計量対象外項目です。

(注3) 結果欄の未満表示の数値は定量下限値を示す。

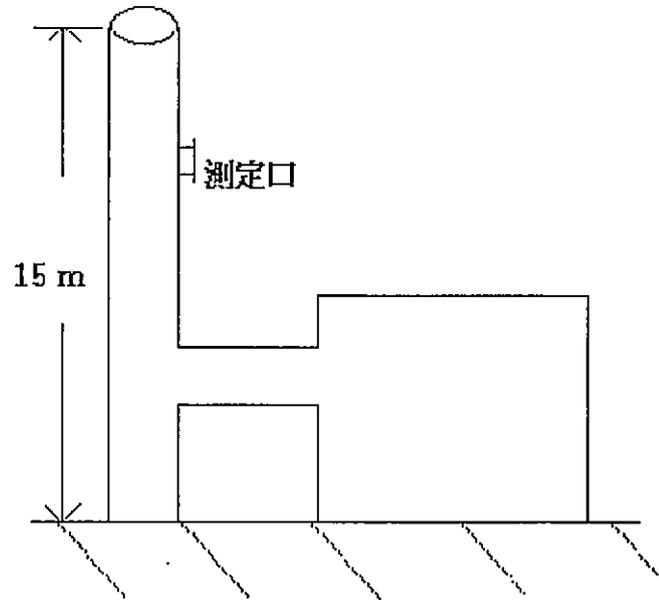
(注4) 本証明書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。



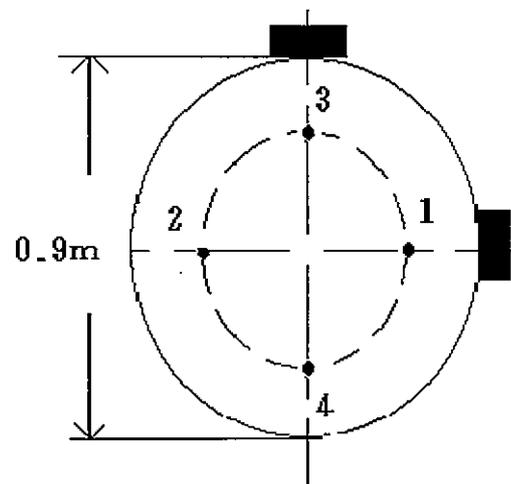
### 3) 設備概要図

得意先名	有限会社 河野組
設備名	焼却センター廃棄物焼却炉No. 1

【設備フロー図】



【測定口断面図】



# ダスト濃度測定記録

JIS Z 8808

第 C2018110414 号

ダスト濃度 測定方法	捕集形式 採取方法	円筒ろ紙1形 移動採取法	捕集材質	シリカ
---------------	--------------	-----------------	------	-----

測定条件	測定点	d (mm φ)	v (m/s)	θs (°C)	Ps (kPa)	qm (L/min)
	1	10	4.2	75	0.0175	14.6
	2	10	5.0	75	0.0239	17.4
	3	10	4.2	75	0.0175	14.6
	4	10	5.9	75	0.0229	20.6

測定値	採取番号	1				2				3				4			
	採取時刻	11:15~11:29															
	採取点	1 ~ 4															
	吸引ガス量 Vm (L)	200.0															
	ガスメータ温度 θm (°C)	21.0															
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0															
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.12															
	乾きガス量 V'N (m³)	0.1865															
	ろ紙	捕集後の質量 m2 (g)	1.40088														
捕集前の質量 m1 (g)	1.39121																
捕集ダスト質量 md (g)	0.00967																
ダスト濃度 CN (g/m³)	0.05186																
平均ダスト濃度 CN̄ (g/m³)									0.05								
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)									10.6								
O2 12 vol%換算値 C'N (g/m³)									0.043								
ダスト排出量 S (kg/h)									0.38								

$$qm = \frac{\pi}{4} \times d^2 \times v \times \left( \frac{100 - X_w}{100} \right) \times \frac{273.15 + \theta_m}{273.15 + \theta_s} \times \frac{Pa + Ps}{Pa + Pm - Pv} \times 60 \times 10^{-3}$$

$$V'_N = V_m \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{Pa + Pm - Pv}{101.32} \times 10^{-3}$$

$$C_N = \frac{md}{V'_N} \quad S = \bar{C}_N \times Q'_N \times 10^{-3}$$

$$\bar{C}_N = \frac{C_{N1} + C_{N2} \dots C_{Nn}}{n}$$

$$C'_N = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_N$$

排ガス温度 (θs): 75 °C  
 水分量 (Xw): 12.0 vol%  
 大気圧 (Pa): 101.60 kPa  
 乾き排ガス流量 (Q'N): 7600 m³/h

# 硫黄酸化物測定記録

第 C2018110414 号

JIS K 0103 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		10:58~11:18	11:41~12:01	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引ガス量 V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度 t (°C)	24.0	26.0	
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01	0.01	
	試料ガス採取量 Vs (L)	18.4	18.3	
分析	試料の溶液量 v (mL)	100	100	
	試料のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 a (mg/mL)	0.0024	0.0025	
	空試験のSO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> 濃度 b (mg/mL)	< 0.0001	< 0.0001	
硫黄酸化物濃度 Cv (volppm)	3.0	3.2		
硫黄酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)		< 5		
硫黄酸化物排出量 S (m <sup>3</sup> /h)		< 0.04		

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_v = \frac{0.233 \times (a - b) \times v}{V_s} \times 1000$$

$$S = Q'_N \times \bar{C}_v \times 10^{-6}$$

大気圧 (Pa): 101.60 kPa

乾き排ガス流量 (Q'<sub>N</sub>): 7600 m<sup>3</sup>/h

# 硫黄酸化物排出基準計算書

第 C2018110414 号

## 1. 計算条件

排ガス温度	$\theta_s$ (°C)	75.0
排ガス流量	$Q_N$ (m <sup>3</sup> /h)	8640
排出口断面積	A (m <sup>2</sup> )	0.6358
排出口高さ	$H_0$ (m)	15
笠の有無		笠無し

排出ガスの排出速度 (V) の計算

$$V = \frac{273 + \theta_s}{273} \times \frac{Q_N}{3600 \times A}$$

温度15度における排出ガス量の計算

$$Q = \frac{A \times V \times (273 + 15)}{273 + \theta_s}$$

## 2. 補正された排出口の高さ (He) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第2項による)

1) 笠あり

$$He = H_0 \text{ [m]}$$

2) 笠なし

$$He = H_0 + 0.65 \times (H_m + H_t) \text{ [m]}$$

$$H_m = \frac{0.795 \times \sqrt{Q \times V}}{1 + \frac{2.58}{V}}$$

$$H_t = 2.01 \times 10^{-3} \times Q \times (273 + \theta_s - 288) \times \left(2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1\right)$$

$$J = \frac{1}{\sqrt{Q \times V}} \left(1460 - 296 \times \frac{V}{273 + \theta_s - 288}\right) + 1$$

## 3. 硫黄酸化物の排出基準を算出する硫黄酸化物量 (q) の計算 (大気汚染防止法施行規則第3条第1項による)

$$q = K \times 10^{-3} \times (He)^2$$

K : 大気汚染防止法第三条第二項第一号の政令で定める地域ごとに別表第一の下欄に掲げる値

当該施設場所のK値	17.5
-----------	------

He : 補正された排出口の高さ

## 4. 計算結果のまとめ

補正された排出口の高さ	He (m)	17
硫黄酸化物の排出基準値	q (m <sup>3</sup> /h)	5.15
硫黄酸化物排出量	S (m <sup>3</sup> /h)	< 0.04
K値換算値		< 0.14

# 窒素酸化物測定記録

第 C2018110414 号

JIS K 0104 (Zn-NEDA法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		10:34	10:35	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量 Va (mL)	150.0	148.0	
	Vaを測定した時の温度 ts (°C)	20.0	20.0	
	ts°Cにおける飽和水蒸気圧 Pns (kPa)	2.34	2.34	
	標準状態の試料ガス採取量 Vs (mL)	136.9	135.1	
分析	試料溶液の希釈倍数 n	1	1	
	吸光度 E	0.045	0.038	
	試料の二酸化窒素体積 v (μL)	3.33	2.79	
窒素酸化物濃度 Cv (volppm)		24.3	20.7	
窒素酸化物濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)		22		
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)		10.6		
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C (volppm)		19		

$$V_{SD} = V_a \times \frac{273.15}{273.15 + t_s} \times \frac{P_a - P_{ns}}{101.32}$$

$$C_v = \frac{v \times n}{V_s} \times 1000$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_v$$

大気圧 (Pa): 101.60 kPa

# 塩化水素濃度測定記録

第 C2018110414 号

JIS K 0107 (イオンクロマトグラフ法)

採取番号		1	2	3
採取時刻		10:58~11:18	11:41~12:01	
採取点		中心点	中心点	
採取条件	吸引試料ガス量 V (L)	20.0	20.0	
	ガスメータ温度 t (°C)	24.0	26.0	
	飽和水蒸気圧 Pv (kPa)	0.00	0.00	
	ガスメータ圧力 Pm (kPa)	0.01	0.01	
	標準状態における試料ガス採取量 Vs (L)	18.4	18.3	
分析	試料の溶液量 v (mL)	100	100	
	試料のCl <sup>-</sup> 濃度 a (mg/mL)	0.0014	0.0013	
	空試験のCl <sup>-</sup> 濃度 b (mg/mL)	0.0002	0.0002	
塩化水素濃度 Cw (mg/m <sup>3</sup> )		6.7	6.2	
塩化水素濃度 Cv (volppm)		4.1	3.8	
塩化水素濃度 (平均) $\bar{C}_w$ (mg/m <sup>3</sup> )			6	
塩化水素濃度 (平均) $\bar{C}_v$ (volppm)			4	
捕集時の酸素濃度 Os (vol%)			10.6	
O <sub>2</sub> 12 vol%換算値 C (mg/m <sup>3</sup> )			5	
換算値 C' (volppm)			3	

$$V_s = V \times \frac{273.15}{273.15 + t} \times \frac{P_a + P_m - P_v}{101.32}$$

$$C_w = \frac{1.03 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C_v = \frac{0.632 \times (a - b) \times v \times 1000}{V_s}$$

$$C = \frac{21 - O_n}{21 - O_s} \times \bar{C}_w$$

大気圧 (Pa): 101.60 kPa

【ばいじん除去記録】

※毎週月曜日の午前中に実施

更新日：令和3年4月1日

平成30年	4月2日	○	平成31年	4月1日	○	令和2年度	4月6日	○	
	4月9日	○		4月8日	○		4月13日	○	
	4月16日	洗管興業		4月15日	○		4月20日	○	
	4月23日	○		4月22日	○		4月27日	○	
	4月30日	○		4月29日	○		5月4日	-	
	5月7日	-		令和元年	5月6日		-	5月11日	○
	5月14日	○			5月13日		○	5月18日	○
	5月21日	○			5月20日		○	5月25日	洗管興業
	5月28日	○			5月27日		○	6月1日	○
	6月4日	○			6月3日		○	6月8日	○
	6月11日	○			6月10日		○	6月15日	○
	6月18日	○			6月17日		○	6月22日	○
	6月25日	○	6月24日		洗管興業		6月29日	○	
	7月2日	○	7月1日		○		7月6日	○	
	7月9日	○	7月8日		○		7月13日	○	
	7月16日	洗管興業(7/17)	7月15日		-		7月20日	○	
	7月23日	○	7月22日		○		7月27日	洗管興業	
	7月30日	○	7月29日		○		8月3日	○	
	8月6日	○	8月5日		○		8月10日	○	
	8月13日	-	8月12日		-		8月17日	-	
	8月20日	-	8月19日		○		8月24日	○	
	8月27日	○	8月26日		○		8月31日	○	
	9月3日	○	9月2日		○		9月7日	○	
	9月10日	○	9月9日		○		9月12日	○	
	9月17日	洗管興業(9/18)	9月16日		-		9月21日	○	
	9月24日	○	9月23日		洗管興業(9/28)		9月28日	○	
	10月1日	○	9月30日		○		10月5日	○	
	10月8日	○	10月7日		○		10月12日	洗管興業	
	10月15日	○	10月14日		-		10月19日	○	
	10月22日	○	10月21日		○		10月26日	○	
	10月29日	○	10月28日		○		11月2日	○	
	11月5日	洗管興業	11月4日		-		11月9日	○	
	11月12日	○	11月11日		洗管興業		11月16日	○	
	11月19日	○	11月18日		○		11月23日	○	
	11月26日	○	11月25日		○		11月30日	○	
	12月3日	○	12月2日		○		12月7日	○	
	12月10日	○	12月9日		○		12月14日	○	
	12月17日	○	12月16日		○		12月21日	洗管興業	
	12月24日	○	12月23日		○		12月28日	○	
	12月31日	-	12月30日		-		1月4日	-	
	1月7日	-	1月6日		○		1月11日	-	
	1月14日	○	1月13日	○	1月18日		○		
	1月21日	○	1月20日	○	1月25日		○		
	1月28日	○	1月27日	○	2月1日		○		
	2月4日	○	2月3日	○	2月8日		○		
	2月11日	○	2月10日	○	2月15日		○		
	2月18日	○	2月17日	洗管興業	2月22日		○		
	2月25日	洗管興業	2月24日	-	3月1日		○		
3月4日	○	3月2日	○	3月8日	○				
3月11日	○	3月9日	○	3月15日	○				
3月18日	○	3月16日	○	3月22日	○				
3月25日	○	3月23日	○	3月29日	○				
-	-	3月31日	○	-	-				

個 別 注 記 表

自 令和 1 年 8 月 1 日  
至 令和 2 年 7 月 31 日

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……法人税法の規定による定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日  
以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法

無形固定資産……法人税法の規定による定額法

3. 引当金の計上基準

該当なし

4. 収益及び費用の計上基準

工事完成基準

5. 消費税及び地方消費税に相当する額の会計処理の方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

6. その他貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表作成のための基本  
となる重要な事項

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

II. 会計方針の変更に関する注記

該当なし

III. 表示方法の変更に関する注記

該当なし

IV. 誤謬の訂正に関する注記

該当なし

V. 株主資本等変動計算書関係

1. 事業年度末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 60 株

2. 事業年度末日における自己株式の種類及び数

該当なし

3. 事業年度中に行った剰余金の配当

該当なし

4. 事業年度の末日後に行う剰余金の配当

該当なし

5. 事業年度末において発行している新株予約権の目的となる株式  
の種類及び数

該当なし

VI. その他

該当なし

上記の通りご報告申し上げます。

令和 2 年 9 月 17 日

有限会社 河野組

代表取締役

河野 勝二

## 貸借対照表

令和2年7月31日現在

有限会社 河野組

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	50,832	流 動 負 債	27,369
		固 定 負 債	1,836
固 定 資 産	128,477	負 債 の 部 合 計	29,206
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	150,104
		純 資 産 の 部 合 計	150,104
資 産 の 部 合 計	179,310	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	179,310

## 損益計算書

自 令和元年8月1日

至 令和2年7月31日

有限会社 河野組

(単位:千円)

科 目	金 額
純 売 上 高	171,543
売 上 原 価	36,842
売 上 総 利 益	134,700
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	145,638
営 業 損 失	10,937
営 業 外 収 益	115
営 業 外 費 用	27
経 常 損 失	10,850
税 引 前 当 期 純 損 失	10,850
法 人 税 等 充 当 額	36
当 期 純 損 失	10,886

# 株主資本等変動計算書

自令和 元 年 8 月 1 日  
至令和 2 年 7 月 31 日

(会社名) 有限会社 河野組

千円

	株 主 資 本								評価・換算差額等				新株 予約権	純資産  合計			
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本  合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益			土地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等  合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		別途 積立金	その他利益剰余金										利益 剰余金 合計
							繰越利益 剰余金										
当期首残高	3,000					30,000	127,900	157,990		160,990					160,990		
当期変動額						△ 10,886	△ 10,886	△ 10,886		△ 10,886					△ 10,886		
新株の発行																	
剰余金の配当																	
当期純損益						△ 10,886											
自己株式の処分																	
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)																	
当期変動額合計						△ 10,886	10,886	10,886		△ 10,886					△ 10,886		
当期末残高	3,000					30,000	117,104	147,104		150,104					150,104		